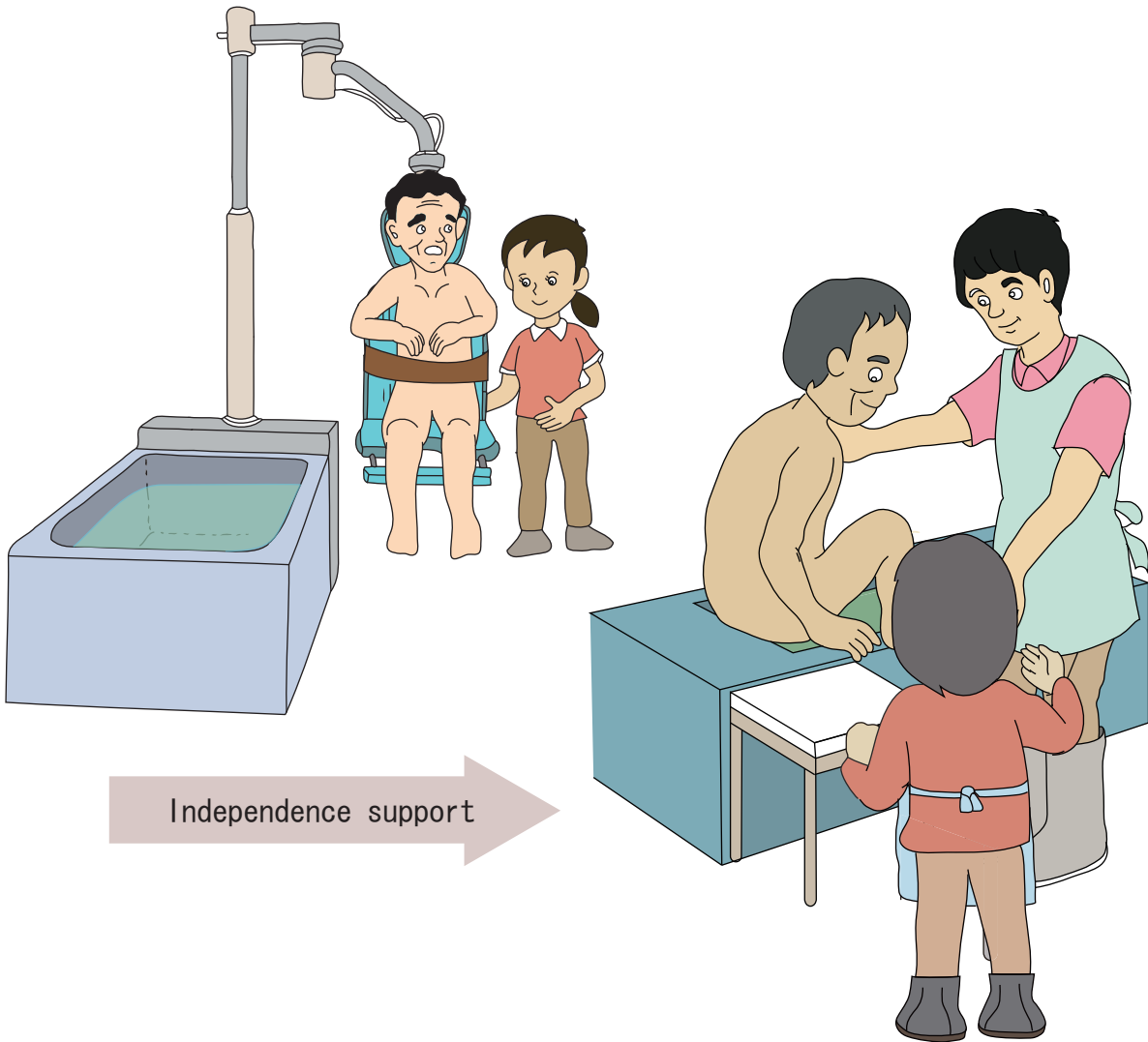


かくどけい

KAKUDOKEI 2013

109号





- 001 巻頭言 「平成25年度を迎えて」 北里堅二
- 002 理事会報告
- 016 各部・委員会報告
- 渉外部
 - 保険部
 - 教育部
 - 学術部
 - 福祉部
 - 学術事業部
 - 厚生部
 - 生涯学習部
 - 調査資料部
 - 法人事業審議委員会
- 021 大観望 「メタボリックシンドロームになって」 草野隆夫
「東京出張」 當利賢一
- 022 事務局だより
- 023 学会・研修会のお知らせ「ライブ感覚で学ぶ！離床のできる循環相談所」
「スマホからはじめる動作分析セミナー in 熊本」
- 024 平成25年度公益財団法人肥後医育振興会医学研究助成金応募案内
学会・研修会印象記
- 025 学術事業部による文献紹介公募のお知らせ
学術事業部文献紹介
- 026 くまもと北から南から
- 028 他士会便り「理学療法士の未来を考えよう」 神奈川県 No. 250
- 029 くまもとの理学療法情報 PT Walker 熊本
- 030 医療・介護お役立ち情報
- 031 よろず運動療法相談所 ～呼吸小委員会～ 「栄養管理と運動療法」
- 032 賛助会員一覧
編集後記
- 033 事業予定表

熊本県理学療法士協会広報部では皆様からの投稿をお待ちしております。医療や介護に関するトピックスや学会・研修会・勉強会の情報など理学療法士として伝えたい情報をお寄せください。

発行 奇数月の月末 6回/年

投稿の方法 協会事務局に原則としてメールで送付してください。

原稿の採択 「投稿規定」に則りその内容を検討し、掲載可否について審議し決定します。なお掲載にあたり、広報部より誌面の関係上原稿について執筆者との協議を通じて、内容の変更をお願いすることがあります。

お問合せ先 (公社)熊本県理学療法士協会事務局

TEL 096-389-6463

E-mail kpta_kat@mtg.biglobe.ne.jp

『平成25年度を迎えて』

公益社団法人 熊本県理学療法士協会
会長 北里堅二(菊南病院)

平成25年度最初の機関紙「かくどけい」の発行にあたり、ひとこと御挨拶申し上げます。

平成24年度を振り返ってみると、一昨年の東日本大震災に引き続き、昨年の九州北部豪雨災害などを体験すると、相変わらず自然の脅威の前に人間が如何に無力であり、さりとてそこから立ち直ろうと努力する強い存在であるかを感じた一年であったように思います。

一昨年の震災以来、日本人の価値観に若干の変化が見られていたように感じていたのは私だけではないと思います。互いを思いやる優しさや、近隣・地域で協力し合う互助・共助の大切さ、場合によっては自己の犠牲さえ厭わない献身性など、古来より日本人が身につけてきた伝統的な価値観が見直され、それを育ててきた文化に誇りを感じる人が増えたように思います。その価値観を支えに苦しい局面を何とか乗り越えようと日本中が頑張ってきました。しかし、時が経つにつれ、そんな思いも次第に薄らいでゆくようにも感じます。被災地ではまだまだ厳しい生活を余儀なくされている人も少なくないのに。震災の復興費用が別の用途に流用されたりしても、メディアから聞こえてくるのは当事者の言い訳と、政治化の責任のなすりあいばかり。今こそ、あの震災が我々に突きつけた課題を再認識し、将来の日本のあるべき姿をみんなで描いてゆくことが必要なのではないでしょうか。

あるべき姿といえば、巷では憲法の改正の話も出てきていますが、手続き論(96条の改正案を含む)が先行し、どの部分をどのように改正したいのかという本質論はわざと俎上に上げない戦略がとられているようにも感じます。この7月の参議院選を無事に済ませてからというように思惑が見え隠れしているようです。これで日本の将来は大丈夫なのか？我々一人ひとりが自分の考えを口にすることが求められているように思います。

日本の将来を考えると、2025年問題も避けて通れない喫緊の課題の一つです。団塊の世代が後期高齢者となるこの前後までに、住民が住みなれた地域で安心して生活できる「地域包括ケア計画」の策定が各地域に求められています。我々理学療法士も、その専門性を活かし、是非この計画の策定に協力できればと思います。そのためには、地域社会の人々や行政に、我々がなにが出来るかを知ってもらい、また我々も行政や政治の活動に関心を持つことが重要です。その一環とし、熊本県理学療法士協会は平成25年度から公益社団法人格を取得しました。今まで以上に社会に貢献し、理学療法士の存在を社会にアピールするとともに、行政に対しても政策提言やいろいろな面での協力が出来るよう頑張っただけでなく、ゆきたいと決意を新たにしているところです。

今年はお出雲大社と伊勢神宮の遷宮が重なる大変ありがたい年です。神様の力を借りてでも日本にとって良い年になるよう祈りたいと思います。平成25年度も「かくどけい」を御一読くださる皆様にとってご健勝の日々が続きますことを祈念いたしまして、巻頭言の結びといたします。



理事会報告

平成24年度第10回理事会議事録(要約版)

日時：平成24年12月12日(水)19:00~22:00

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・前田・坂崎・飯星・大脇・川上・佐藤・田島・筒井・野津原・増田・光本

(監事)中島 (事務局員)山内

(事務職員)石黒・前田

欠席者：(理事)三宮・野間 (監事)寺川

(相談役)森重 (事務局員)山本・福島・久米野・坂本

書記：森内・浅野(朝日野総合病院)

1. 報告事項

1) 特別委員会報告

◇公益法人対策特別委員会

(前田)特になし。

◇情報共有推進特別委員会

(筒井)ホームページの組織名称、会長挨拶、会員推移等の変更。必要な予算を確定するという流れである。

◇訪問リハ対策特別委員会

実務者研修の時間は30時間、年1回の講演会、新人教育の単位認定等。訪問リハパンフレット作成予定。

◇渉外活動推進特別委員会

(坂崎)熊本市医師会企画の小児肥満を対象とした講習会への参加協力を糖尿病小委員会と調整中。

◇組織検討特別委員会

(会長)最終的な組織図案、スケジュール完成。

2) 復興特別税への対応について 【事務局】

(坂崎) 10.21%復興特別税が所得税に追加となった。

3) 平成24年度熊日スミセイさわやか介護セミナー開催報告 【光本理事】

(光本)参加者は116名であった。

4) 健康づくり県民会議「健やか生活習慣くまもと県民運動」について 【増田理事】

報告・活動内容を県健康づくり推進課に提出。

5) 日本理学療法士協会倫理委員会報告

【増田理事】

倫理教育に関するアンケートについて概要報告。

6) 平成24年度事業計画等の修正・変更について ○第4回小児研修会

【変更後】

期 日：平成25年1月27日(日)

場 所：熊本保健科学大学

テ ー マ：「感覚統合療法(SI)の基礎と応用」

対 象 者：PT・OT・STその他医療関係者

○第7回臨床実習教育研修会

【変更後】

テーマ：「学生とともに成長する臨床実習教育」

内 容：講義・事例検討会(GW)

参加費：会員¥2000 非会員¥4000

定 員：会員70名 非会員10名

○天草ブロック特別講義

【変更後】期日：平成25年2月

(坂崎)小児研修会については日程の変更、研修時間の延長になったため、参加費・講師料が修正された。(会長)参加費増額について改めて確認頂きたい。

2. 協議事項

1) 平成25年度事業計画(案)・予算(案)について

【事務局】

(坂崎)会費収入に関して、会員が200名増えるということ的前提に計算している。会費収入で2369万1000円を見込んでいる。研修会収入は昨年より少し増え747万9500円を見込んでいる。その中で大幅に増額した部分が新人教育研修会、生涯学習部が約200万近く増額したことになる。逆に次年度は学会が無い場合、学会会場整理費というのが次年度は収入として挙がらないため、ここが減額となる。会費の総収入が今のところ3143万5500円というところで、今年よりも280万ほど収入が増える予定。支出は、特別委員会38

万5400円、事務局は約1600万。厚生部が47万円、学術部が60万円ほど増えている。教育部に関しては、各ブロックでの研修会がなくなるため減額となる。事業部は昨年と比べると大幅に減額になる。次年度は県学会が開催されないため学会評議委員会予算が縮小となる。分野別小委員会も減額となる。会館設立の積み立ては200万円80万円の予備費の中で設立パーティー等を行う。

(会長) 記念事業ではプロジェクトチームを立ち上げて準備となる。総会は、25年度までは2回行う。1月の理事会までに予算案・事業計画案を整えていただく。

2) 第31回協会賞受賞候補者の推薦について

【事務局】

(坂崎) 協会賞受賞候補者は現在6名いる。

(会長) ポイント数でも現状難しい。今年度推薦なし。

3) 県北ブロック長交代について 【ブロック】

平成24年度：菅原大志氏

(デイサービスセンター菖蒲苑)

平成25年度：浦上洋純氏 (菊池中央病院)

(会長) 浦上洋純氏を県北ブロック長として、承認いただける方は挙手をお願いする。全員承認(12/12名)ということで、来年度は浦上洋純氏に県北ブロック長をお願いする。

4) 学会評議員欠員に伴う補充について

【任命依頼】

【学会評議員会】

・推薦：上村幸司氏 (東病院)

杉野氏より業務都合により評議員退任の意思表示があった。学会及び学会評議員会に関する規程第13条に基づき、熊本市ブロック長より上村氏の推薦があった。学会評議員会としては、特に問題なく推薦に値すると判断する。

(会長) 了解。推薦について意見はあるか？無ければ、学会評議員は上村氏をお願いする。

5) 医専連30周年記念行事について 【田島理事】

記念誌部数について、30周年誌の必要冊数を決定する必要がある。

(会長) 前回同様35部注文をお願いする。

6) 研修会の受付方法、受講費の取り扱いについて

【生涯学習部】

第2回新人研修会を実施し、6つの新プロの講義が行われたが、研修会前日や当日を含めて講義の変更や金額の変更等の依頼が多数みられた。また、研修会終了後、多額の受講費を部員が個人レベルで管理している。そのため、事前振込み(ネットバンク)等にしていただいていたからの講義受講にし、出来る限り個人で多額の金額を取り扱わないようにシステムの変更ができないか検討をお願いしたい。

(事務局案) セブン銀行または肥後銀行のインターネットバンキングを利用してはいかがか。

(会長) 相当なお金を持つておくのはプレッシャーになる。一年間をかけて様々な方法を検討させて頂く。

7) 新人研修会の県外受講者の金額について

【生涯学習部】

(生涯学習部案) 会員：¥500/1コマ

会員外：¥1,000/1コマ

(会長) 金額について意見はないか？なければ原案の通りに行なう。

8) 組織図(案)及び分掌規程(案)について

【北里会長】

(会長) 組織図案、分掌規程は案だが、承認頂ける方は挙手をお願いする。全員承認(12/12名)頂いた。タイムスケジュールに沿って、平成26年度4月の新体制で開始の方向で、来年1月からの業務を進めたい。

9) 熊本市介護認定審査会委員の推薦について

【事務局】

委員任期：平成25年4月1日～平成27年3月31日

推薦委員数：8名

(※現委員：北里堅二、坂崎浩一、田島徹朗、野津原豊、森重康彦、木原伸一、小森田宏、本田隆)

(会長) この8名で推薦をさせていただきたいと思う。

10) 賛助会員懇談会の日程調整について

【事務局】

(事務局案) 期 日：平成25年2月1日(金)

場 所：メルパルク熊本

11) 熊本県医療・保健・福祉連携学会について

【第9回理事会継続審議】

【野間理事】

平成25年3月2日に連携学会があり、その中で当協会は居宅支援連携部に所属している。次回のテーマは「地域連携ケアシステムー各職種の課題とこれからの対策(仮題)」としてディスカッションが行われる予定だが、シンポジストの紹介をお願いしたい。

(私案) 第6回熊本県医療・保健・福祉連携学会の当協会が所属している居宅支援連携部会であるが、レジュメを早く仕上げる必要があり、以下の方よろしければ決めたいので検討をお願いしたい。

竹内久美 氏 (株式会社くますま)

(会長) 竹内先生にシンポジスト、野間理事に座長をお願いするという事に決定する。

12) 日本理学療法士協会会費納入規程(案)について

【第9回理事会継続審議】

【事務局】

(会長) 会費納入規程(案)について12月20日までに意見提出の依頼があった。意見がなければ、熊本からは“原案通り意見は無し”という事で回答頂きたい。

13) その他

(野津原) 部長会議で研修会規約の整備と研修会マニュアルの必要性について意見が出た。

(会長) 組織改定に向けて、事業内容の洗い出しをしてもらわなければならないが、その中で各種運営マニュアル等必要であれば今後作検討しなければならない。

以上、閉会

平成24年度第3回拡大理事会議事録

(要約版)

日時：平成25年1月9日(水) 19:07~19:50

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

<理事> 北里・大島・前田・坂崎・飯星・大脇・川上・佐藤・三宮・田島・筒井・野間・光本

<監事> 寺川・中島

<部長・委員長> 山本(総務部)・藤原(厚生部)

・岸本(調査資料部)・河島(保険部)・坂田(広報部)

・岩下(IT事業部)・今屋(学術部)・前田(教育部)

・岩田(学術事業部)・南野(生涯学習部)

・木原(福祉部)・溝田(規約審議委員会)

・山下(表彰審査委員会)・大籠(法人事業審議委員会)

・溝上(糖尿病小委員会)・西村(スポーツ領域小委員会)

<ブロック長・地区長> 富田(熊本市ブロック西地区)・興呂木(熊本市ブロック中央地区)・瀬音(熊本市ブロック北地区)・菅原(県北ブロック)・塚島(八代ブロック)・藤井(県南ブロック)

<事務職員> 石黒・前田

欠席者：

<理事> 野津原・増田 <相談役> 森重

<部長・委員長> 福島(庶務部)・久米野(財務部)

・草野(宣伝部)・保田(事業部)・前本(呼吸領域小委員会)・市原(小児領域小委員会)・奥村(選挙管理委員会)

<ブロック長・地区長> 坂本(熊本市ブロック菊阿地区)・高山(熊本市ブロック東地区)・西岡(熊本市ブロック南地区)・水田(天草ブロック)

<事務局員> 坂本・山内

書記：鶴戸・岩下(熊本セントラル病院)

1) 平成25年度事業計画(案)・予算(案)について

【事務局】

(坂崎) 今日の拡大理事会は3点確認させて頂く。1点目は、次年度の事業計画と予算の内容についての確認。2点目は、活動状況報告。3点目は、半田会長の特別講演会並びに懇親会への出欠確認。

平成25年度の予算について概要説明。平成25年度予算収入の部について、次年度の会費収入は会員数が2千名超えを見込み会費が22,891,000円、入会金500,000円、賛助会員会費が300,000円で会費収入23,691,000円を計上している。研修会収入は7,539,500円を見込んでいる。その他の事業収入等含めて31,495,500円を次年度の収入見込みとして計上している。支出の部について、特別委員会、事務局、以下各部委員会、分野別小委員会、ブロック、その

他法人税等を含めた次年度の支出の総額は26,874,965円であり、4,700,000円ほどの差額はあるが、この内訳は投資等支出を含めての金額である。現時点では赤字になることはないので、この金額をベースに事業計画と予算についての説明をする。現時点での公益事業比率は51.9%である。

事務局からのお願いとして、今日の時点で200名程度の会費未納の会員がいるので各部より声掛けをして頂きたい。

2)各部報告

◆総務部

(山本)計画案を作成しているので、各部は年度内に提出。変更がある場合は必ず連絡のこと。

◆厚生部

(藤原)昨年12月20日に締め切ったアンケートに関しては集計をしている。

◆調査資料部

(岸本)今年度事業は2月に行われる熊本県理学療法士学会のアンケート調査で終了になる。

◆渉外部

(坂崎)熊本城マラソンのボランティア支援に関して熊本市の実行委員会等とやりとりをしており、20名のボランティア募集が必要となる。

◆保険部

(河島)年度末事業終了。次年度に向けての検討中。

◆広報部

(坂田)今年度はあと1回発行予定になっている。

◆IT事業

(岩下)一般向けのホームページに連載を掲載したら終わりの予定。

◆学術部

(今屋)今年度の事業は12月にすべて終了した。次年度の新事業の「理学療法士講習会(応用編)」について申請準備中。

◆教育部

(前田)12月20日、21日で管理者研修最終教育カリキュラムが終了。残りは2月3日開催予定の今年度2回目の臨床実習教育研修会のみ。

◆学術事業部

(岩田)2月の県学会での書籍等の貸し出しの準備中である。

◆生涯学習部

(南野)2月7日に「生涯学習システムに関する説明会」を行う予定。

◆福祉部

(木原)1月19日(土)14時～17時に九州中央リハビリテーション学院に於いて介護保険領域に関する研修会を行う。

(坂崎)福祉研修会を通算でカウントをしていただきたい。

◆規約審議委員会

(溝田)特にない。

◆表彰審査委員会

(山下)平成24年度の「りんどう賞」推薦を各委員会・ブロック長あてに文書で発送するので返信して頂きたい。

◆法人事業審議委員会

(大籠)今月17日に委員会の会議を開催予定。残り一回2月か3月に会議を開催する予定である。

◆糖尿病小委員会

(溝上)1月19日に人吉で糖尿病フォーラム開催予定。1月20日に糖尿病小委員会の研修会を熊本リハビリテーション病院にて開催予定。

◆スポーツ領域小委員会

(西村)2月3日に第12回のテーピングの講習会を熊本機能病院にて開催予定。案内を熊日のタウンパケットに掲載。

◆各ブロック

(坂崎)ブロックの総括で飯星理事から何か報告は。(飯星)特にない。

(富田)熊本市ブロック西地区の事業はすべて終了。

(興呂木)熊本市ブロック中央地区の事業はすべて終了。

(瀬音)熊本市ブロック北地区の事業は、1月末に第2回ブロック勉強会、2月に介護予防の研修会を予定。

(坂崎)県学会関係の報告は。

(瀬音)現在予定通り進行中。年末に学会案内ポスターを各施設に配布。

(菅原)県北ブロックの事業はすべて終了。ブロック長交代を予定。

(塚島)八代ブロックの事業は、2月下旬から3月にかけて勉強会と会議を予定。

(藤井)県南ブロックの事業は、1月下旬と2月下旬に勉強会予定。3月に全体会議を予定。

(坂崎)予算と事業計画に関しては事前のメール等のやり取りで時間短縮できた。次年度に関しては、この予算で事業計画を取りまとめて総会に臨みたい。日程は未定であるが、「法人化設立記念パーティー」を企画中で準備委員会を立ち上げて対応する。

合同学会関係についての報告。

(中島)日程・場所等については、11月23日・24日の2日間、崇城大学市民ホールにて行う。講演関係は決定している。基調講演が1題、特別講演が1題、教育講演が2題と市民公開講座を予定している。演題募集は300数題を予定している。地元で行われる学会なので各施設にて演題を応募して頂きたい。同時に学会動員へも協力をお願いしたい。

(坂崎)大島副会長から意見は？

(大島)「生涯学習に関する説明会」を開催する予定であるが、組織変更により次次年度、生涯学習部が廃止となる。生涯学習部の業務である認定に関わる作業を次年度は各部と事務局に移行して行くので、各部からの参加をお願いします。

(坂崎)これは部長、委員長だけでよろしいのか。ブロック長・地区長も対象となるのか。

(南野)ブロック長・地区長も参加していただくようお願いしたい。

(坂崎)理事から他に意見は？

(田島)協会本部より理学療法士講習会(応用編)の提出が1月15日までということなので早急な手続きが必要となる。事前準備をよろしくお願いしたい。

(坂崎)各部、各委員会、各ブロック・地区の責任者より確認事項・伝達事項等はないか？

(山下)各部員・各委員の交通費が昨年は1月末か2月末までに提出だったと思うが、本年度はいつまでに提出すればよろしいか。

(前田事務職員)総会までに提出してほしい。3月発行分を含めてお願いします。

(坂崎)復興税徴収により税金の税額が変更となっている。研修会を予定されている部や委員会は対応のほどよろしくお願いする。第2回熊本城マラソンのポ

ランティアを募集している。メールをいただければと思うので、よろしくお願いする。

(会長)例年会費の未納者が非常に多く、年度末になると理事が督促の対応をしている。是非楽天カードを作って頂くよう職場でも啓発して頂きたい。来年度からは事務連絡などを積極的にホームページより発信していく。ホームページの更新があると携帯電話やパソコンに更新情報がくるので、マイページ登録を推進する。いろんな情報発信の仕方があると思うが、会員に速やかに情報が伝わりホームページの方に繋がっていくようなやり方を考えたい。

公益事業の比率が50%程度で非常に厳しいということで、次次年度予算から考えないといけない時期に来ている。

以上、閉会

平成24年度 第11回理事会議事録(要約版)

日時：平成25年1月9日(水)20：00～21：30

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・前田・坂崎・飯星・大脇・川上・

佐藤・三宮・田島・筒井・野間・光本

(監事)寺川・中島 (事務局員)山本

(事務職員)石黒・前田

欠席者：(理事)野津原・増田 (相談役)森重

書記：鶴戸・岩下(熊本セントラル病院)

1. 報告事項

1) 特別委員会報告

◇公益法人対策特別委員会

(前田)特になし。

◇情報共有推進化特別委員会

(田島)予算に関して協議事項に案件提出。

◇訪問リハ対策特別委員会

(大島)特になし。

◇渉外活動推進特別委員会

(坂崎)熊本城マラソンは事務局と年末に調整済み。ボランティア協力は20名ほど必要。

◇組織検討特別委員会

(会長)12月に最終的な組織案と暫定的な分掌規定を作成。仕事の洗い出しと振り分けを予定している。

2) 平成24年度事業計画等の修正・変更について

○第4回小児研修会

【変更前】参加費：500円 通信費：36,000円
事務消耗品費：5,000円 講師謝礼金：20,000円

【変更後】

参加費：1,000円 通信費：26,625円
事務消耗品費：4,000円 講師謝礼金：30,000円

3) 第12回テーピング講習会の広告料について

【スポーツ領域小委員会】

広告料を54,600円で計上しているが、タウンパケット掲載料が2日間で60,900円(税込)になり、6,300円不足となる。事務局と調整のうえ対応する。

4) 障害者自立支援法に係る審査会委員の推薦について

【事務局】

委員期間：平成25年4月1日
～平成27年3月31日
推薦委員：飯星雅朗

2. 協議事項

1) 管理者教育カリキュラム(第1ステージ)について

【教育部】

(前田)平成25年度、管理者教育カリキュラム(第1ステージ)の日本理学療法士講習会(応用編)登録申請を検討中。担当者に問合せの結果、事業形態としては日本理学療法士協会の事業ではなく、委託事業として県が行う形。上限90,000円の補助費が出る。内容的には本事業を、そのまま日本理学療法士講習会の応用編として登録する。予算の削減にはあまり繋がらないが、全国にこの活動を伝える機会と考える。この登録について、検討いただきたい。

(会長)メリットとしては日本理学療法士協会より90,000円の補助費が出ること、当協会のカリキュラム内容を全国へ発信できることである。デメリットとしては教育部での諸手続きが増えることである。部としては日本理学療法士講習会(応用編)への移行を考えている。承認できる方は挙手をお願いしたい。(理事)全員賛成(12/12名)

(会長)応用編で手続きを進めていただきたい。(会長)同じく学術部研修会の日本理学療法士講習会(応

用編)に関し、手続きをすすめることにに対し承認できるか。

(理事)全員賛成(12/12名)

2) ホームページ更新作業における当年度予備費からの315,000円拠出について

【情報共有推進化特別委員会】

処理方法：当年度の予備費から315,000円、次年度の予算として378,000円に分けて計上。

(田島)ホームページの法人名変更等準備作業中。本年度の予算が315,000円、次年度が378,000円となっている。詳細は事務局と相談しながら振り分けをしたという経緯がある。

(坂崎)今年度の予算執行状況と次年度の予算組立から、今年度全額払うか来年度全額払うか、今年度と来年度に分けて払うか検討した結果、分割方式を提案する。

(会長)予算はどこからもってくるのか。

(坂崎)予備費から持ってくる予定である。

(大島)公益と共益の比率が変わる事はないのか。

(坂崎)ない。

(会長)この予算拠出で賛成である方は挙手を

(理事)全員賛成(12/12名)

3) 健康づくりに関する意見募集(パブリック・コメント)について

【事務局】

募集期間：平成25年1月16日(水)まで

(坂崎)対象計画の「熊本県健康増進計画」、「第3次熊本県歯科保険医療計画」、「第2次熊本県がん対策推進計画」に対してのコメントがあれば頂きたい。

(会長)各自ホームページを確認の上で当協会として意見をあげたほうが良いということがあれば、今週中に理事にメール配信にて送っていただきたい。

4) 熊本県健康づくり県民会議表彰に係る推薦について

【事務局】

提出期限：平成25年1月31日(木)

(会長)対象があれば、1月25日までに推薦頂く。

5) 平成25年度事業計画(案)・予算(案)について

【事務局】

(坂崎) 前回の理事会と本日の拡大理事会の中で説明している通り。別に「公益法人設立記念事業収支予算書」として計画の中に2,340,000円を計上。今後実行委員会を別途立ち上げて、準備を進めていく。

投資活動支出予定は、什器備品で270,000円、周年事業準備積立金100,000円、公益法人設立記念事業積立金200,000円、理学療法士協会会館取得積立金2,000,000円となっている。

(会長)何か質問、意見等あるか。

(佐藤)事業部と宣伝部のユニホームの取り扱いについて確認したい。管理と洗濯方法については如何か。

(坂崎)事業部にクリーニング費用等確認する。

(田島)事業計画で、例年講師が調整中にもかかわらず講師料と交通費が予算化されているが如何なものか。

(会長)指摘内容に関してはその通りである。調整中に関しては、一概には言えないが、今後は理事会(担当理事)が指導して、詰めた状態での予算案提出をする。

(大脇)講師調整だけではなく、予算執行に関する中身についても指導を行ったほうが良いのではないか。

(会長)執行率に関しては、予算の組み方の問題が非常に大きい。毎年同じような予算の組み方で、執行率も低く、検証しないで前年の予算のまま組んでいくことが多々あるので指導を強化していく。新組織移行にあたり、事業の洗い出し、振り分けにより指導する機会が今年は増える。その機会を捉えて、事業計画及び予算の執行状況を細かくチェックし指導していく。

また、公益比率が50数%というのは厳しい。公益事業の枠を広げていく必要がある。次々年度の予算や事業内容を考えるときに、公益事業をできるだけ膨らますように指導する。

(中島)公益事業を増やすのも必要であるが、継続性も含めて予算執行率というのが徹底されていない。少なくとも80%強を超える予算執行率があれば、公益比率は概ね60%を超える。事業拡大だけではなく、適正な予算執行の徹底が必要。それを踏まえた最終的な予算案・事業計画案を提出すること。

(会長)理事にて事業の執行状況、予算の執行状況を適宜確認する。

(寺川)日本理学療法士講習会(応用編)は委託事業か。(会長)そうである。

(寺川)日本理学療法士協会の支出勘定項目は。

(坂崎)援助金支出で、当協会は事業収入で計上。教育部の管理者研修会と学術部の講習会応用編の各90,000円は事業収入になる。

(寺川)委託の場合、予算は全額支給ではないのか。

(会長)委託の場合はそうである。

(寺川)一部負担であれば補助金ではないのか。

(田島)基礎編は費用が全額出ている。

(寺川)それが本来の委託事業である。

(田島)基礎編は、全国協会より率先して新人教育のために行うという趣旨である。

(会長)税金の問題もあり、事業としては、日本理学療法士協会が行うのではなく各都道府県士会に委託する形式である。

(中島)日本理学療法士協会から県への委託事業であるが、熊本県理学療法士協会は単独の協会であり別組織である。補助金や委託金の拠出を受けた場合の処理は、熊本県理学療法士協会に計上という形でいいのか。

(坂崎)全国協会の細則に、各県に士会を置くと明言されている。その中に我々は属し、また独立した社団であるという、両方の側面を同時に有する形であるという解釈として理解している。

(会長)各県士会に事業を振るという表現になっているが、金銭の流れとしては日本理学療法士協会が当協会に事業を委託し、事業費を拠出する形である。

(中島)了解した。

(佐藤)研修会等の開催回数について確認したい。

(坂崎)日本理学療法士協会のホームページに開催回数も含めて研修会名が広報されるので、それに合わせることになる。

(会長)その形で良いか。

(理事)了承。

(会長)先ほど田島理事から指摘があった講師の調整中の取り扱いであるが、交通費にかかわる部分で、どこから呼ぶのか不明のまま例年通りの予算の組み方をしないようにという意味である。その点について担当理事は指導のこと。

以上、閉会

平成24年度 第12回理事会議事録(要約版)

日時：平成25年2月6日(水) 18:30～19:30

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事) 北里・大島・前田・坂崎・飯星・大脇・川上・

佐藤・田島・筒井・野津原・増田・光本

(監事) 中島 (事務職員) 石黒・前田・吉永

欠席者：(理事) 三宮・野間 (監事) 寺川

書記：市原・佐野(江南病院)

1. 報告事項

1) 特別委員会報告

◇公益法人対策特別委員会

(前田) 提出書類の確認。

◇情報共有推進化特別委員会

(坂崎) 特になし

◇訪問リハ対策特別委員会

(大島) 特になし

◇渉外活動推進特別委員会

(坂崎) 熊本城マラソン対応で調整中。

◇組織検討特別委員会

(前田) 今後の日程を検討する。

2) 平成24年度事業計画の修正変更について

○介護保険領域における研修会

【変更前】 期日：平成25年2月

テーマ：「介護保険領域における
起業や展開について」

【変更後】 期日：平成25年1月19日

テーマ：「シダーが考える介護保険領域にお
ける展開」

(会長) タイトルの適正を考えて欲しい。

3) くまもと乳幼児フォローアップ検討会について

【小児領域小委員会】

作業内容について、年度末に提出する。

4) 復職支援事業アンケート

【厚生部】

アンケート回収と集計が完了。

5) 次年度計画(案)について

【事業部】

中止予定だった介護支援専門員試験対策講座を開催することとした。

6) 第17回熊本県理学療法士学会予算変更について

【学会評議員会】

学会準備あたり、2種類のポスター作成と配布が行われた。14,300円の郵送費拠出に伴い、学会誌発送費用が不足する事態となった。については、予算総額内に納めることを前提とし、下記内容に変更のうえ、準備運営にあたりたい。

【変更前】

印刷費 550,000

講師謝礼金 75,000

通信費 30,000

【変更後】

印刷費 440,000

講師謝礼金 42,000

通信費 173,000

(田島) 既にポスターを作成していたため変更ができなかった。報告が遅れた経緯もがある。

(会長) 総額として変更はないが、各項目の予算内容の検討のうえ調整した。責任の所在を明確にし、報告も適宜入れるようにして欲しい。

2. 協議事項

1) 卒業式日程調整について

【事務局】

県内各養成校の卒業式出席者の調整。

2) 第6回小児研修会(案)について

【小児領域小委員会】

(坂崎) 謝礼金について検討頂きたい。

(会長) 非会員と同等で良いのでは。

(理事) 承認。

3) 平成25年度生涯学習部部長交代について

【生涯学習部】

現任：南野大佑氏(熊本セントラル病院)

新任：當利賢一氏(介護老人保健施設清雅苑)

(会長) 交代に賛成の方は挙手を願いたい。

(理事) 承認。(12/12名)

4) 県南ブロック、八代ブロック、天草ブロックの
研修会認定について **【生涯学習部】**

次年度のブロック開催研修会について、ポイント
認定とするのか検討頂きたい

(会長) 専門認定90分の2単位以上、新人教育プログラム
では60分1単位で単位認定の研修としての基準を
満たすことになる。

(大島) 生涯学習部はブロックの研修内容を把握して
いない。今後の検討か。

(飯星) ブロック長から申請用紙を生涯学習部に、生
涯学習部から理事会に挙げればよいか。

(大島) そうである。

5) 研究助成申請報告と助成金額の決定について

【学術事業部】

本年度1件の研究助成申請あり。部内で申請内容
を検討した結果、10万円の助成をしたい。

(会長) 基礎研究は必要であるが、理学療法の発展に
寄与する可能性がどの程度あるのか、裏づけと目的
が漠然としている。

(中島) 誰がそれを判断できるのかはつきしていない。
申請内容で理学療法への貢献性があると認めていか
なければいけないのではないか。

(会長) 10万円の助成には問題ないか。

(理事) 承認。(11/12名)

6) 小児生活習慣病予防検診の事後指導における講
師派遣依頼について **【事務局】**

日時：平成25年3月9日(土)14:00~16:00

場所：熊本市医師会病院

内容：小児生活習慣病予防検診の事後指導

「親子でできる小児生活習慣病予防体操」

派遣数：1名 ※回答〆切：2/15(金)

(会長) 推薦者はいないか。過去に例がなく小児領域
分野か糖尿病分野か判断が難しい。

(筒井) 小児肥満と高脂血症、食事内容等も含め糖尿
病小委員会のほうが適切ではないか。

(会長) 糖尿病小委員会にお願いする。

7) 介護保険審査会委員の推薦依頼について

【事務局】

任期：平成25年4月1日~平成28年3月31日

推薦数：1名(現：光本理事) 〆切：2/15

(光本) 川上理事と検討し、事務局に報告する。

8) 自民党熊本県支部からの支援団体への勧誘に対
する対応について **【北里会長】**

(提出要旨) 衆議院選挙対応も踏まえ、自民党県支部
より支援団体への案内があり、県理学療法士連盟も
含め、対応を検討する必要がある。

(私案) 県連盟は支援団体となる方向で話しを進めて
いる。県協会としてまたは協会の幹部数名が支援者
も登録する方向で対応したい。

(会長) 政治活動は協会の仕事としても重要である。
当協会として支援団体になるか、会長として支援者
となるか、どなたか意見はないか。

(中島) 国政として考えれば、日本理学療法士協会の
意向が関係してくるが、県レベルで決めることは当
協会では判断していいと考える。全国で考えること
はない。現在熊本県県会議員はほとんど自民党で構成
されているため問題はない。

(会長) 支援団体になる方向で考えていく。

9) 広報に置けるTwitter等の利用について

【北里会長】

(提出要旨) 当協会のホームページへの登録率は3割
程。Twitter等の活用は如何と考えている。次回に検
討する。

10) 施設部門責任者に対するアンケート調査に
ついて **【北里会長】**

ホームページ登録及び楽天カードの作成状況のア
ンケートに関し、前回の意見を考慮し、依頼とア
ンケート用紙を推敲してみた。

(私案) アンケートは郵送するが、回収のためにホ
ームページにもアンケート用紙を掲載し、メールま
たはFaxでも返信が出来るようにする。

11) 第35回九州理学療法士・作業療法士合同学会へ
の仮払金について **【事務局】**

年度内に必要な印刷・郵送費の補填として、50万の
貸付を行いたい。

(理事)承認。(12/12名)

12) 平成25年度事業計画(案)・予算(案)について

【事務局】

(坂崎)「資金調達の見込みについて、なし」「設備投資の見込みについて、なし」という文言を議事録に追加。理事会承認を得たい。

(会長)問題ないか。

(理事)承認。(12/12名)

(坂崎)総会資料に関して、議事内容は2点。「25年度の予算計画」「組織図改定に関する件」を上げている。City FMの出演は、三宮理事と筒井理事で問題ないか。

(会長)問題ない。

(会長)事業計画案、予算に関する説明に対して意見はないか。

(坂崎)資料を再度みていただき、何かあればご連絡いただきたい。

13) 熊本県医療・保健・福祉連携学会スタッフ派遣について

【事務局】

日 時：平成25年3月2日(土) 9:00～

場 所：鶴屋ホール ｽ切：2/15(金)

3. その他

(坂崎)会費未納者への対応を進めたい。

以上、閉会

平成24年度 第13回理事会議事録(要約版)

日時：平成25年3月10日(日)9:00～9:46

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・前田・坂崎・飯星・大脇・川上・

三宮・田島・筒井・野津原・野間・増田・光本

(監事)寺川・中島

(相談役)森重

(生涯学習部長)南野

(総会議長)河野(合志第一病院)

欠席者：(理事)佐藤

書記：河津・鎗水(熊本リハビリテーション病院)

1. 報告事項

1) 大分県理学療法士協会創立40周年記念式典

祝賀会について

【前田副会長】

2月24日大分県理学療法士協会創立40周年記念公開講演・式典・祝賀会が開催され出席した。知事・国会議員・行政担当者・各種関連団体34名、会員111名の参加。アットホームな中に厳粛さを感じる式典であった。

2) 連携学会企画委員会について

【野間理事】

連携学会3月2日予定通り開催。

3) 理学療法士講習会(応用編)について

【学術部】

日本理学療法士協会の承認を得た。

4) 平成24年度事業計画等の修正・変更について

○第4回吸引セミナー

講師調整ができず人吉の吸引セミナーは中止。

5) 平成25年度事業計画等の修正・変更について

○第55回学術研修会

【変更前】場所：九州中央リハ学院

テーマ：運動療法に対する研究と臨床応用

【変更後】場所：熊本保健科学大学

テーマ：筋の運動学と関節可動域制限に

対する運動療法

○第56回学術研修会

【変更前】テーマ：

機能障害科学～関節可動域制限のメカニズムと

ペインリハビリテーション

【変更後】テーマ：ペインリハビリテーション

○第2回新人研修会

【変更前】期日：8月24日 場所：調整中

【変更後】期日：8月17日 場所：熊本保健科学大学

○第3回新人研修会

【変更前】期日：8月25日 場所：調整中

【変更後】期日：8月18日 場所：熊本保健科学大学

○第4回新人研修会

【変更前】期日：10月19日 場所：調整中

【変更後】期日：9月15日 場所：熊本保健科学大学

○第5回新人研修会

【変更前】期日:10月20日 場所:調整中

【変更後】期日:9月16日 場所:熊本保健科学大学

2. 協議事項

1) 第2回総会の進行について 【事務局】

(坂崎)開会の辞は大島副会長、会長挨拶は北里会長、定足数報告を坂崎が行う。議長選出はフロア確認後、河野氏を紹介し承認得る。書記は、河津氏と鎗水氏に依頼、議事録署名人は江崎氏と立川氏に依頼。

第1号議案が、25年度の事業計画案・予算案に関する件で坂崎より説明、2号議案は、組織図改定に関する件で、会長より説明頂く。質疑後、特に無ければ議長自ら解任頂くことになる。

その後、表彰である。南野部長が退会されるので、今年1年間、生涯学習部の立て直しに尽力された功績に対し、感謝状を贈呈する。

2) 平成25年度新人教育プログラム研修会の講師依頼について 【生涯学習部】

(南野)新人教育プログラムの講師を理事役員に担当して頂きたい。各担当の講義、講師、時間について、日程と場所が決まった。

(光本)業務都合上、大島副会長と交代願いたい。

(会長)日程に無理がある場合は、各自交渉し頂きたい。基本的にはこの案どおりにいく。

3) 県南ブロック、八代ブロック、天草ブロックの研修会認定について(第12回理事会継続審議)

【生涯学習部】

(部案)ブロックの研修会については、現状どのような研修会が開催されて把握できていないが、単位認定の研修会の規定を満たしているものであれば認定研修として扱いたい。

(南野)生涯学習部としては、講師規程と研修会の時間、新プロの場合は60分、認定研修の場合は90分を2コマ以上というのを満たせば、認めてよいと思う。理事会で承認頂ければと思っている。

(大島)確認だが、新プロは60分1コマ、講師は本来であれば新プロ修了者が望ましい、修了者でないとい

けない。認定研修は、基本的にはそれを終了した者だが、今の段階では少ないので誰でも良いのか。(南野)臨床経験5年以上である。応急的な処置になると思うが、認定理学療法士や専門理学療法士もっている方が講師を務めて頂くことが望ましいと思う。

(会長)講師も含めて規定に合うなら認定する。

—挙手承認—

4) 監査の日程調整について 【事務局】

(坂崎)12~16日の都合の日程を指定頂きたい。

5) 入学式の調整について 【事務局】

- ・4/2 九州看護福祉大学 前田副会長
- ・4/2 熊本保健科学大学 坂崎専務理事
- ・熊本駅前看護リハ学院
メディカルカレッジ青照館 大島副会長
- ・九州中央リハ学院 北里会長
- ・熊本総合医療リハ学院 光本理事

6) 理事会の議事録書記について

【前田副会長】

(前田)私が職場を変わり、書記対応ができないという状況になった。以前の職場で対応できないかとお願ひしたところ、大丈夫とのこと。私のようなスタイルで他の理事が対応できれば良いということで、今回提案させていただいた。

(会長)対応が可能なところがあれば、是非調整していただければと思う。

7) ホームページ内容の変更について

【情報共有推進化特別委員会】

次年度ホームページを公益法人に切り替えるにあたり、変更にかかる承認をお願いしたい。

(田島)表記を箇条書きに変更。全国研修に開催回数を入れた。それから2011年に2つの行を追加している。ロゴを「公益社団法人」に変更している。

現在までの経緯をグラフにする予定にしているので、何も無ければ4/1には変更したい。

(会長)見て頂いて何かあれば報告してもらおうと言うことで、4/1には変更する予定なので、来週までにお願ひする。

(会長)何かあれば、早急に報告頂きたい。

8) 広報に置けるTwitter等の利用について

(第12回理事会継続審議) 【北里会長】

(会長)現在の登録は3割ほど。会員への情報伝達は今後HPで行っていくため、情報が更新したことを会員に伝える術がいるのではないかということでツイッターはどうかと思う。情報によっては誹謗中傷の意見が集中することがあるということで、これに関して意見を頂きたい。

(野津原)媒体としては非常に有効であるが、十分管理しなければ、悪意がある場合は一気にフォロー数上がる。内容によっては誹謗中傷が集まる場合があるので、管理者はきちんと対応しなければいけない。どちらかというフェイスブックが使われたほうが、相手が見えてよい。

(会長)フェイスブックは実名を出さなければいけないので登録しにくいのではないかという話もある。これは継続して検討したいと思う。

9) その他

(三宮)HP登録について。先日のアンケートの期間が延長できれば、回収率も上がるかと思う。

(三宮)昨年12月のレポートについて。脳血管疾患リハに関わる高齢者の方を3単位するという減額査定が多く、多くの病院に対して行われた。当協会としても何らかの対応を迫られる可能性があるということで、作業療法士協会・言語聴覚士協会と情報収集をしていた。1月の時点では殆どないようで12月のみスポット的に行ったようだ。少し様子を見る必要がある。

(会長)熊本はそのような状況ということで、一旦様子観察という話になっている。ただ、超高齢者に対するリハ介入と効果については、廃用症候群等を含めて、実態調査をしておく必要がある。

あまりに介入の仕方が不適切な場合があれば、ゆくゆくは請求できなくなることがあるので、全体に注意を促すような勧告を行う必要がある。そのときはご協力をよろしく願ひたい。

(坂崎)がんピアサポートに関する資料を入れている。先日熊本県健康福祉部健康局健康づくり推進課からの提供である。

(会長)参加可能な方は宜しく願ひしたい。今後検討課題とする。

(大脇)昨日の3月9日、小児生活習慣病予防説明会があり、140名ほどの参加があった。理学療法士に対してのアピールもあり、非常に有意義な会であった。

以上、閉会

平成24年度 第2回総会議事録(要約版)

日時：平成25年3月10日(日)10:00~10:55

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・前田・坂崎・飯星・大脇・川上・

三宮・田島・筒井・野津原・野間・増田・光本

(監事)寺川・中島

(相談役)森重

欠席者：(理事)佐藤

議長：河野将光(合志第一病院)

議事録署名人：

江崎重昭(介護老人保健施設松朗園)

立川 衛(デイサービスセンター松朗園)

書記：河津弘二・鎗水亜須香

(熊本リハビリテーション病院)

1. 開会の辞 (大島副会長)

(大島)4月1日から公益社団法人として新たなスタートとなる。会員数も増え約2000名規模の団体となる。次年度の事業、新組織体制について審議をよろしく願ひしたい。

2. 会長挨拶 (北里会長)

(会長)震災から2年、継続的支援が日本全体で必要になる。当協会ができることを、これから探して行かなくてはならない。来年度は、公益社団法人に移行する。県民の健康に寄与するための団体で、各自が公益法人の一員である自覚をもって頂くよう願ひしたい。

重要な来年度の事業計画、組織、会計に関する件に関しての審議を頂くことになる。よろしくお願ひしたい。

3. 定足数報告 (坂崎専務理事)

(坂崎) 現在会員数 1872 名、出席者数 113 名、委任状 999 名。定足数 936 を満たし、本会が成立したことを報告する。

4. 議長選出

理事会より、合志第一病院の河野将光氏を推薦。拍手にて承認される。

5. 書記任命

理事会より、熊本リハビリテーション病院の河津弘二氏と鎌水亜須香氏を推薦。拍手にて承認される。

6. 議事録署名人任命

理事会より、介護老人保健施設松朗園の江崎重昭氏とデイサービスセンター松朗園の立川衛氏を推薦。拍手にて承認される。

7. 議事

1) 第 1 号議案：平成 25 年度事業計画(案)・

予算(案)に関する件

(河野議長) 執行部より説明頂きたい

(坂崎) 重点事業として、情報共有の推進、協会目的を達成するための渉外活動、組織の検討の三点を掲げた。

公益事業 1 は、県民の医療・保健・福祉の向上に資する事業で、県民公開講座の開催、「PT あ！（ピタ）」や、障がい児に対する療育支援事業、県民向けへの健康に関する情報発信等を行う。

公益事業 2 は、医療保健福祉関連団体との協力連携に関する事業で、県民介護講座や講師の派遣、熊本市健康フェスティバル支援などがある。公益事業 3 は、医療保健福祉関連職種の資質向上に資する事業である。県学会準備や、公開学術研修会、臨床実習研修会、専門領域研修会などがこれにあたる。共益事業は、新人研修会の開催、管理者研修会、卒後研修会、保険診療研修会の開催、学術資料収集・提

供等になる。各ブロックの活動、関連団体との会議出席及び連携交流に関する事業もこれに含まれる。管理は、本会の目的達成に必要な管理運営に関する事業となる。当協会の PR 活動、賛助会員懇談会、生涯学習プログラム運営に関する事業、総会、理事会等となる。

予算について説明したい。県民の医療・保健・福祉の向上に資する事業が公益 1、医療・保健・福祉関連団体との協力連携に関する事業が公益 2、医療・保健・福祉関連職種の資質向上に資する事業が公益 3 を意味する。収益事業等会計が共益にあたり、法人会計が管理になる。経常収益計の 32,754,500 円が次年度予想される収入の合計額になる。経常費用計の 32,645,125 円は、支出の合計となる。経常費用計の小計は 17,092,284 円で、これが公益事業の支出の合計であり、経常費用計の合計と小計の比率が公益比率で 52.4%となる。

参考資料の収支計算書を確認頂きたい。次年度は 200 名の新人会員増にて予算計上している。事業活動収入計は 32,754,500 円。支出の部は、事業費支出計で 22,775,125 円となっている。管理に関する資料・管理費支出の給料手当支出が 43 万程増額になっているが、事務局員の人員増に伴うもので、管理費支出計は 8,051,00 円となる。

周年事業の積立では、公益法人設立の式典(パーティー)を開催したいと考えている。以上、事業計画と予算について、審議頂きたい。

(河野議長) 質問のある方は挙手で願いたい。

(大島) 新人研修会の日程を修正頂きたい。平成 25 年度第 1 回新人研修は 6 月 15 日、第 2 回は 8 月 17 日、第 3 回 8 月 18 日、第 4 回は 9 月 15 日、第 5 回は 9 月 16 日となる。修正を願いたい。

(河野議長) 質問のある方は挙手を願いたい。

～質問無し～

(河野議長) 第 1 号議案：平成 25 年度事業計画(案)・予算(案)に関する件に賛成の方は、挙手を願いたい。事務局員はカウントを。

(事務局員報告) 挙手の数は 99 名。

(河野議長) 会場出席者 113 名で挙手の数は 99 名。第 1 号議案がここに承認されたことを報告する。

2) 第2号議案：組織図改定に関する件

(河野議長)第2号議案改定に関する件に関して、執行部より説明頂きたい。

(会長)検討を重ね組織図の案が固まった。総会が最上位の機能で、理事会、執行部という位置付けとなる。事務局、教育学術局、社会局、地域局の4局制。地域局はブロック、事務局は総務部・庶務部・財務部・厚生部の4部からなる。教育学術局に関しては、学部・教育部・専門領域部を作っている。専門領域部は、日本理学療法士協会の専門領域の研究会に合わせ、認定・専門理学療法士を熊本県でも図るべくこの部を設けた。社会局での、公益推進事業部は今の事業部と学術事業部と一部がここに入ってくる。公益事業を推進していく必要も踏まえ、公益事業推進部をおいた。従来の福祉部に保健的な分野も担うため保健福祉部を作った。現在の保険部は、医療保険も介護保険も担当し研修会を年2回開催しているが、これを医療保険部と介護保険部の2つに分けたと考えている。広報宣伝部は、今までの広報・宣伝を合わせた形となる。地域局に関しては、熊本市の地区をブロックに格上げする事になっている。各ブロックで、様々な事業を受け持つ頂く。ブロック機能や地方の細部機能を充実させる必要性と、地域毎に色々な事業に対応できるような態勢を整えていくことが重要である。公益事業を行ううえで、重要である。機能性の高い組織にしたい。委員会は、常設委員会と特別委員会があり、選挙管理委員会は別にあり、常設委員会は政策企画室を含めて3つにしている。政策企画室は、5年10年先を見据えて、県の協会の方向性を示唆すべく提言する為の組織になっている。組織体制審議委員会は、今の法人事業審議委員会と規約審議委員会を含めて、今の法人・県協会の在り方について審議して頂く。また昨今、理学療法士が、医療審議委員会で審議される状況にもある。会員に対する倫理の徹底も重要になってくるため、倫理委員会を立ち上げる。特別委員会に関しては、今までの同様に必要に応じて、期間を区切って、特別委員会を設けて活動していく事に対応したい。今までの事業を継続していくとともに、各部が有機的に連携し合い、新規事業を推進していけるような組織にしていきたい。ご審議をお願いしたい。

(河野議長)第2号議案に関して、ご質問がある方は挙手で願いたい。

～質問無し～

(河野議長)第2号議案改定に関する件に関して、賛成の方は挙手を願いたい。

事務局員はカウントを。

(事務局員報告)挙手の数は99名。

(河野議長)99名の賛成により、第二号議案がここに承認されたことを報告する。

3) その他

(河野議長)フロアから何かあるか？

～質問無し～

8. 議長解任

(河野議長)議事を終了する。議事・書記の任を解かせて頂く。

9. 表彰(感謝状)

(北里会長)

(会長)生涯学習システム変更之际、諸事情により対応が遅れた。登録確認等、非常に混乱し危機的な状況になった際に、生涯学習部を引き受けて頂きその立て直しに尽力された。近々他県への異動とのこと、今回その労を労うとともに感謝の意を表し感謝状を贈る。

(感謝状贈呈)

10. 閉会の辞

(前田副会長)

(前田)25年度の事業計画・予算、組織図の改定に承認頂いた。4月から公益法人に移行する。内部的な研鑽を積むということに加えて、県民に対していかに我々が貢献できるかということが次に課題となる。一枚岩になっていくことが、今後の理学療法士、10年後20年後を見据えた活動を展開していく状況になっていくと思う。更なる会員の意識向上と協力が必要である。宜しく願いたい。

これをもって、第2回総会を閉会とする。

以上、閉会

各部・委員会報告

渉外部 部長 坂崎 浩一

・日本理学療法士協会九州ブロック各県理学療法士会長会議

平成 25 年 3 月 30 日(土)、くまもと県民交流館パレアにおいて九州ブロック各県理学療法士会長会議が開催された。昨年、長崎で開催された第 34 回合同学会の開催状況の報告に続き、今年、熊本で開催される第 35 回合同学会進捗状況の報告がなされた。また、役員改選が行われ、新任の代表会長には鹿児島県の梅本会長が就任された。当会からは北里会長、坂崎事務局長、第 35 回合同学会の中島学会長が出席した。

・養成校入学式出席者調整

- 4/2 九州看護福祉大学 (前田副会長)
- 4/2 熊本保健科学大学 (坂崎専務理事)
- 4/5 熊本駅前看護リハ学院
メディカルカレッジ青照館(大島副会長)
- 4/6 九州中央リハ学院 (北里会長)
- 4/6 熊本総合医療リハ学院 (光本理事)

・熊本市地域リハビリテーション協議会各種委員の調整

- 熊本市地域リハビリテーション協議会委員
北里会長・野津原理事
- 在宅サービス手引書編集委員会委員
川上理事
- 訪問介護検討委員会委員
筒井理事
- リハビリテーション検討委員会委員
大脇理事

・委託事業派遣者調整

- 荒尾機能訓練事業 2名
- 児童発達支援事業 2名

保険部 部長 河島 英夫

保険部では、今年度も保険診療研修会を開催いたします。今年度は改定のない年ですので、リハビリテーションに関連する項目を整理してお伝えする内容としております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。なお、申込み方法などの詳しい情報は、郵送しました研修会案内をご参照ください。

<第 29 回医療保険診療研修会>

日 時：平成 25 年 5 月 30 日(木) 19:00～21:00
場 所：フードパル熊本

熊本市食品交流会館 多目的ホール
テーマ：「医療保険におけるリハ関連項目
の基礎知識の整理」

講 師：(公社)熊本県理学療法士協会
保険部 河島英夫

<第 14 回医療保険診療研修会>

日 時：平成 25 年 6 月 25 日(火) 19:00～21:00
場 所：フードパル熊本

熊本市食品交流会館 多目的ホール
テーマ：「介護保険におけるリハ関連項目
の基礎知識の整理」

講 師：(公社)熊本県理学療法士協会
理事 光本しのぶ

保険診療に関するご質問・問い合わせは、件名に「質問」または「問い合わせ」と記入の上、下記のアドレスにメールにてお送りください。お手数ではございますが、何卒よろしくお願いいたします。

(公社)熊本県理学療法士協会 保険部

メールアドレス：

hokenbu.kumamoto.pt@gmail.com

九州北部豪雨で被災された皆様、東日本大震災の被災者の皆様へ心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

教育部 部員一同

教育部の前田です。平成 25 年度も早いもので 2 ヶ月が経過しようとしています。今年度入職した新人の皆さんもライセンス登録が終わり、現場で活躍されている事と思います。私達理学療法士の使命は「質の高い理学療法の提供」です。日々研鑽を積みながら頑張りたいと思います。

さて、当教育部では各研修会等の情報を、熊本県理学療法士協会ホームページを通じて発信してまいりますので、ログイン ID の登録、ならびに公益社団法人日本理学療法士協会(以下: JPTA)のマイページ登録(どちらも無料)をよろしくお願い致します。

☆各班の活動です

◎卒後教育班：平成 25 年度の卒後教育班の活動は、各ブロック地区で行ってまいりました卒後教育研修会を終了し、グレードアップした形で、2 つの研修会となって生まれ変わります。これは専門・認定理学療法士取得のポイントとなる研修会で、「リスク管理研修会」と「問題解決に関わる研修会」です。どちらも今までの卒後教育班の目標としておりました医療人として、セラピストとしてまずは身につけておく必要のあることをより深く学んでいただけるようなコンテンツになっております。「リスク管理研修会」は 8 月 25 日(日)に行なう予定です。「問題解決に関わる研修会」も概ね日程が決定し、具体的準備を進めているところです。是非多くの方にご参加いただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

◎臨床実習教育班：臨床実習教育班は、少し事業をスリム化し、いよいよ臨床教育者の育成プログラムに向けた準備を始めます。今年度の研修会は第 8 回臨床実習教育研修会として、すでにご案内の通り 6 月 30 日(日)9:00(8:30 受付)より熊本保健科学大学にて行ないます。今回は麻生リハビリテーション

大学より松崎哲治先生をお招きし、「最近の学生との向き合い方～情意領域の指導方法について～(仮)」と題して行います。ぜひ多くの皆様にご参加いただきたいと思います。お申込お待ちしております。

さて！「熊本県版スーパーバイザーの手引き」はもうお読みいただきましたか？各施設 1 部の配布ですが、PDFにて熊本県理学療法士協会ホームページ(<http://www.kumamoto-pt.org/>)よりダウンロードできますのでぜひご一読いただき、臨床実習教育の参考にしていただければと思っております。ご意見もどしどしお寄せ下さい。皆様の力でこの手引きを育てていきましょう。

◎管理・運営教育班：管理者教育カリキュラム(第 1 ステージ)は平成 25 年度から、(公社)日本理学療法士協会委託事業として認可されました。すでに全国より多数の応募を頂き、募集を締め切りました。今回の事業で熊本発の管理者教育が広く全国に知っていただき、全国で管理者育成の輪が広がればと思っております。早速 6 月 20 日(木)から第 1 クールがスタートします。良い準備をして良い学びが提供できるように頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。もちろん第 2 ステージについても検討中です。皆様からも、ぜひ受講したいという項目等ございましたら、どしどしご意見下さい。

☆教育部のビジョンは...

- 現状における臨床実習教育の課題を抽出し、標準的指導指針を模索する。そのテキストとして、日本理学療法士協会発行の臨床実習の手引き(第 5 版)を用い、養成校、臨床実習施設の共通目標を確認する。
- 理学療法士としての専門的知識や技術の重要性もさることながら、卒前教育の限界と卒後教育での課題と思われる基礎的な項目の習得の一助となる教育システムの構築を行う。
- 上記内容を把握し、人材(財)育成、組織的管理のできる管理者を育成し、理学療法士の職域拡大や就労後の教育レベルの向上を図る。

教育部に対するご意見・ご要望等ございましたら、私(前田) rptmaeda@yahoo.co.jp までご連絡下さい。

新年度がはじまって早2か月。あわただしい年度初めも若干落ち着きを見せていることかと存じます。今年度も学術活動を基軸に充実した仕事に取り組んで参りましょう。

さて、我われ学術部はいよいよ6月から今年度の事業がスタートします。申し込み開始当初よりすでに第55回学術研修会は定員に達していたため、今回よりキャンセル待ちの募集を試みました。それぞれに登録していただいた会員の皆様、まことにありがとうございました。さらに、理学療法士講習会(応用編)の開催も迫っております(5月31日には申し込みを締め切っておりますが、本原稿執筆時は募集中です)。それぞれの研修会におきましては、皆様にお会いできることを部員一同心より楽しみにしております。それでは、各研修会の進捗状況をお知らせします。

《平成25年度 県協会主催事業》

『第55回学術研修会』

テーマ：「筋の運動学と関節可動域制限に対する運動療法」

講 師：市橋 則明 先生

(京都大学大学院医学研究科
人間健康科学系専攻リハビリテーション
科学コース理学療法学講座

運動機能開発学分野 教授)

日 時：平成25年6月15日(土)～16日(日)

会 場：熊本保健科学大学

対 象：理学療法士、作業療法士、その他医療専門職

定 員：50名(※定員に達しています)

キャンセル待ち受付：平成25年5月31日迄

『第56回学術研修会』

テーマ：「ペインリハビリテーション」

講 師：沖田 実 先生

(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
運動障害リハビリテーション学研究室)

講 師：松原 貴子 先生

(日本福祉大学健康科学部
リハビリテーション学科

理学療法専攻教授)

日 時：平成25年9月8日(日)

会 場：九州中央リハビリテーション学院

対 象：理学療法士、作業療法士、その他医療専門職

定 員：100名

申し込み期間：未定

申し込み方法：熊本県理学療法士協会 HP 申込
フォームより

『第57回学術研修会』

テーマ：「リハビリテーションに必要な脳機能と画像の見方」(仮)

講 師：松元 秀次 先生

(鹿児島大学病院霧島リハビリテーション
センター医局長 助教)

日 時：平成25年11月17日(日)

会 場：九州中央リハビリテーション学院

対 象：理学療法士、作業療法士、その他医療専門職

定 員：100名

申し込み期間：未定

申し込み方法：熊本県理学療法士協会 HP 申込フ
ォームより

《平成25年度 日本理学療法士協会主催事業》

『理学療法士講習会(応用編)』

テーマ：「下肢疾患の理学療法

～局所機能のつくり方と運動連鎖の応用の仕方～」

講 師：園部 俊晴 先生

(関東労災病院リハビリテーション科主任
理学療法士)

講 師：今屋 健 先生

(関東労災病院リハビリテーション科主任
理学療法士)

日 時：平成25年7月6日(土)～7日(日)

会 場：熊本保健科学大学

対 象：理学療法士、その他医療専門職

定 員：46名

申し込み期間：平成25年4月20日～5月31日

申し込み方法：①～⑦を記載の上、メールでお申し込み下さい(携帯メール不可)。

- ① 講習会テーマ
- ② 氏名（フリガナ）
- ③ 所属（士会・勤務先・〒・勤務先住所・電話番号）
- ④ 経験年数（年目）または免許取得年度
- ⑤ 県コード（1～47）
- ⑥ 会員番号（8桁）
- ⑦ メールアドレス

※ 定員に達していない場合は、受付期間を延長している場合がございます。お問い合わせは、imayamasami@yahoo.co.jp 学術部今屋将美まで。

福祉部 部長 木原 伸一

今年度の福祉部の活動を報告します。

障害を持つ子どもさん達の就学支援の一環として、毎年開催している「介護教室」を、8月に「障害を持つ子ども達の理解～乳幼児期の発達特徴とその支援～」と題して、理学療法士の浪本先生や保育士、臨床心理士の方々と一緒に開催予定です。

昨年好評をいただいた「福祉研修会」を、もっと多くのセラピストに聞いていただきたいとの多くの声をふまえて、10月に、講師「腰塚勇人先生」を再度お願いして、テーマを「命の授業～セラピストへの提言～」と題し、九州中央リハビリテーション学院で開催します。腰塚先生の著書「命の授業」やYouTubeの「命の授業」の動画ムービーは、30万人以上の方が感動され、社会的に大きな反響となっています。私たちセラピストにとっても、気づきの多い示唆に富んだ貴重な講演会になることと思いますので、ぜひ、多くの皆様方のご参加をお待ちしています。

「介護保険領域における研修会」では、平成26年2月に、「介護保険領域における起業や展開～今後の改定と訪問リハステーションの可能性（仮題）～」と題して、株式会社ポシブルの塩中雅弘先生をお招きして、最新情報を含めて開催予定です。

今年度より新部員もご参加いただき、みんなで活発な意見交換などを含めて活動していきたいと思っておりますので、

どうぞよろしく申し上げます。

学術事業部 部長 岩田 輝彦

事業予定についてお知らせいたします。

・研究助成について

平成23年4月1日より、研究助成規程が新しくなりました。ホームページにも掲載していますので、是非とも研究助成規程を確認のうえご利用頂きます様お願い致します。

厚生部 部長 藤原 慶太

今年度からポイント履修システムの変更に伴い、新人研修会と懇親会の会場を九州中央リハビリテーション学院とホテルニューオータニ熊本にて開催予定です。

《平成25年度新卒者研修会》

期 日：平成25年6月15日（土）14時30分～
18時00分（受付は13：30～）

場 所：九州中央リハビリテーション学院 講堂
内 容：「新人研修プログラム A-2 協会組織と生涯学習システム」

講 師：當利 賢一先生

対 象：会員

《新人・役員懇親会（親睦会）》

期 日：平成25年6月15日（土）19時00分～
21時00分（開場は18：30～）

場 所：ホテルニューオータニ熊本
内 容：新人・役員懇親会（親睦会）

対 象：新人会員

参加費：研修会のみ 500円

懇親会参加（研修会費+懇親会費） 6500円

関係各所の皆様には今年度も円滑に開催できますよう、ご協力とご理解の程を宜しくお願い致します。



生涯学習部

部長 當利 賢一

◎平成 25 年度の新人教育研修会は 5 回を予定

今年度、新人教育プログラムの研修会は回を予定しています。昨年度との違いは、第 2～5 回の研修会は、朝 9 時～午後 5 時半までと丸 1 日かけ、2 日間で 14 テーマを終わらせることです。この 2 日間の研修会を 8 月 17、18 日と 9 月 15、16 日の 2 回開催致します。なお、研修会の情報は、すべて日本協会のホームページに掲載するようになっていきます。

・テーマの追加について

今年度より、新たに『D-4 理学療法士のための医療政策論』のテーマが追加されました。

・研修会受講時の会員カード持参について

昨年度と同様、研修会の受付は、IC カードリーダーにて行いますので、受講の際は必ず会員カードをご持参下さい。



・受講後の単位の反映について

受講後、マイページへ単位取得が反映されるまでには時間がかかることがあります。ご了承お願い致します。

・修了処理に関して

修了処理もマイページ上で行うことになりました。修了単位に達すると、仮修了というボタンが現れますので、そこをクリックすると修了申請が行えます。仮修了から修了に変更されれば、修了処理は完了します。日本協会より新プロ修了証が発行・送付され、マイページ上で新プロ修了が確認できましたら、専門領域研究部会への登録をお願い致します。

※会員歴 11 年目以上で新人教育プログラム未修了者は再度新人教育プログラムを履修する必要があります。

・お問い合わせに関して

ご質問は随時受け付けておりますが、緊急の場合以外は、メールにてお願い致します。

メールアドレスは… kpta.11d@gmail.com

緊急の場合は…

部長：當利賢一(所属：介護老人保健施設清雅苑)

096-345-8112 内線 7308

調査資料部

部長 岸本 稔

新年度が始まり、会員の皆様に置かれましては慌ただしい日々を過ごされていることと思います。さて、平成 25 年度の調査資料部の事業は平成 25 年 11 月に開催されます九州 PT・OT 合同学会の調査を実施する予定です。調査方法としてはアンケート調査を予定しておりますが、具体的な内容に関しては未決定です。詳細が決まりましたら追ってご連絡申し上げます。

法人事業審議委員会 委員長 大籠 安男

新年度、仕事やプライベートにおいても何かと環境が変化する時期ですね。私の職場でも 4 月よりフレッシュな新人セラピストが入り、さらに明るい雰囲気となりました。若いってそれだけで素晴らしいことですね！

さて、法人事業審議委員会活動ですが、4 月 24 日に会議を行ないました。日本理学療法士協会および熊本県理学療法士協会理事会等資料をもとに、会長および委員で情報を共有しました。

我々が所属する日本理学療法士協会および熊本県理学療法士協会では様々な重要案件が山積する状況ですが、理学療法士の社会的地位は十分とはいえない状況ですね。

そんな中、我が熊本県理学療法士協会は本年 4 月をもって公益法人となりました。事業実績を基に必要書類を作成・提出し、厳しい審査を通過しての法人格取得。ですが、本来「県民の健康に寄与する」という本会理念の達成のための法人化です。これからの活動が重要。その活動如何で我々の存在価値が確定していくように思います。理学療法士の仕事をもっともっと誇れるようなアクション！考えてみませんか？

大 観 望

『メタボリックシンドロームになって』

宣伝部部長
水前寺とうや病院
草野 隆夫

「メタボリックシンドローム」、通称、「メタボ」をご存知ですか? 「内臓脂肪症候群」です。これは、内臓脂肪型肥満を共通の要因として高血糖、脂質異常、高血圧が引き起こされる状態で、重複した場合は命に関わる病気を招くことがあります。ただし、食べ過ぎや運動不足などの悪い生活習慣の積み重ねが原因となっているため、生活習慣の改善によって、予防・改善できます。

私は年齢的にも一つの大台を越え、職務的にも管理職となり、以前ほどの身体の動きをしなくなっています。禁煙の効果もあり、食事はおいしく十分に摂取しています。このような状態が継続すれば、ご想像通り、「私はメタボです。」

運動して規則正しい生活を送れば、改善することは知っています。しかしです。なかなかそこまで行き着きません。知識はありますが、判っていても実行が伴いません。「私もそうです」と言われる方も多くおられると思います。

ここで、ふと、何か似ている光景を思い出しました。それは、私がまだ患者様とたくさん関わっていた頃、患者様に「こんなに頑張ると良くなるから、自主的に頑張ってみよう」と励ましている自分でした。昔は、こんな事を平然と言っていました。セラピストだから、少しでも患者様に改善してほしいから、口癖のように言っていました。

でも今の年代になると、自分も出来ないんです。人には意図も簡単に言えるのに、自分が実行することは難しいです。決心して始めても、長続きしないのです。不思議です。

これらの事を考えてみると、私たちが患者様に提供しているリハビリテーションも同じことが言えるのではないのでしょうか。セラピストとして正しい事を当たり前で言っているつもりかもしれませんが、実際実行する本人が本当に頑張る気持ちを持ち、継続できないと意味が無いのです。本人のモチベーションを上げ、継続する気持ちを引き出すことは、セラピストとして一つのテクニックかもしれません。これが出来ると、本人自身が運動効果を理解するので、運動する時間が自然に増えてきます。

私も、私自身にもう一度言い聞かせようと思います。そして、十年前の身体を取り戻します。

『東京出張』

生涯学習部部長
介護老人保健施設清雅苑
當利 賢一

私は、今年度より生涯学習部部長を務めさせていただきます、介護老人保健施設清雅苑の當利賢一と申します。何卒よろしくお願い致します。ご存知のように生涯学習部は、新人教育プログラムの研修会の企画・運営を行いました、認定・専門理学療法士制度においても研修会の登録を行うなど、まさに生涯学習に関わる部なのです。最近では、受付業務の方法を PC による IC カードリーダーにて行うなど、システムが年々変化している中、部員一同何とかついて行こうと奮闘しているところです。

さて、先日、部長になってはじめての大きな仕事、「東京出張」に行きまして。これは、なんと、東京の会議室に全国 47 都道府県の生涯学習部部長が一堂に会して会議を行うというものでした。会議には、日本理学療法士協会の半田会長も出席されていました。内容としては、今後の組織改正と生涯学習機構についての説明や生涯学習システムについて変更点などの確認を行いました。

昨年度の新人教育プログラムの履修率は増加したとのことでしたが、認定理学療法士の認定者数は依然、多いとは言えない状況のようで、推奨してほしいとのことでした。また、議題ごとに主催者（日本理学療法士協会）と各都道府県の部長との意見交換も行われました。厳密には、部長側が質問しそれに主催者が答えるというものでした。非常に活発に質問がされており、私も研修会の受付で使用する入退室管理システムのバージョンアップについて質問してきました。また、昼休みや休憩時間には、他の県の部長と新人教育プログラムの企画・運営について、問題点や工夫しているところなど意見交換ができ、非常に参考になりました。

今回、実際に部長が集まり、顔が見えるかたちで意見交換ができたことは、非常に有意義な時間であり、5 時間の会議時間は長くて大変だと思いましたが、あっという間に過ぎていました。今年度は、6 月から新人教育プログラムの研修会がはじまります。部員一同、しっかりと頑張りますのでご協力お願い致します。

事務局だより

(公社)熊本県理学療法士協会 事務局

〒861-8045 熊本市東区小山2丁目25-35

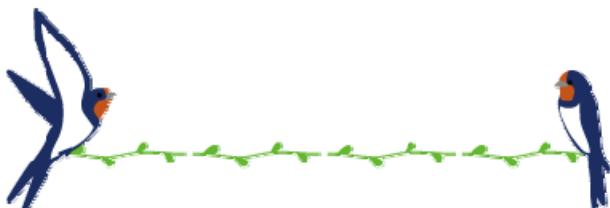
TEL/FAX 096-389-6463

Eメールアドレス kpta_kat@mtg.biglobe.ne.jp

ホームページ http://www.kumamoto-pt.org/

会長行動録

- 3/2 熊本県医療・保健・福祉連携学会：鶴屋ホール
- 3/6 熊本市介護認定審査会
：熊本市健康センター新町分室
- 3/8 熊本訪問リハビリテーション研修協議会：清雅苑
- 3/9 熊本総合医療リハビリテーション学院卒業式
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 3/10 第13回理事会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 3/10 第2回総会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 3/13 熊本県地域リハビリテーション支援体制推進シンポジウム：くまもと県民交流館パレア
- 3/14 在宅医療・介護に関わる多職種連携研修会
：ウェルパルクまもと
- 3/19 肥後医育振興会評議員会：KKR ホテル熊本
- 3/21 熊本市介護認定審査会
：熊本市健康センター新町分室
- 3/26 九州理学療法士・作業療法士合同学会実行委員会：九州中央リハビリテーション学院
- 3/30 九州ブロック各県理学療法士会長会議
：くまもと県民交流館パレア
- 4/3 熊本市介護認定審査会
：熊本市健康センター新町分室
- 4/6 九州中央リハビリテーション学院入学式
：熊本市市民会館崇城大学ホール
- 4/10 第1回拡大理事会・第1回理事会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 4/12 平成24年度事業監査
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 4/17 熊本市介護認定審査会
：熊本市健康センター新町分室
- 4/17 第2回理事会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 4/24 法人事業審議委員会
：熊本総合医療リハビリテーション学院



会員数 (H25. 4. 30 現在)

賛助会員 10 社 休会会員 172 名

ブロック名	施設数 ()内の自宅会員数を 含んでいます。	会員数
熊本市	270 (69)	1268
県北	71 (15)	206
八代	76 (12)	248
天草	44 (6)	90
県南	19 (2)	40
合計	480 (104)	1852

掲示板

■ 平成25年度入会手続きについて

随時受付中ですが、6月30日までにお手続き下さいますようお願い致します。

《入会申し込み方法》

※手続きは日本理学療法士協会、熊本県理学療法士協会の両方に必要です。

①日本理学療法士協会入会申込

日本理学療法士協会ホームページより Web にてご登録ください。

②熊本県理学療法士協会申し込み

熊本県理医学療法士協会入会申込書に必要事項をご記入・押印のうえ、当協会事務局まで送付ください。書式は当協会ホームページよりダウンロード可能です。

※押印漏れのないようご注意ください。

■ 異動・休会・復会・退会等の手続きについて

原則として、平成25年度より Web 申請にてお手続きをお願いいたします。

※マイページ登録をお願いいたします。

また、県外異動・入会・休会・復会・退会に関し、熊本県理学療法士協会書式による書類の提出が必要です。尚、書式は当協会ホームページよりダウンロード可能です。ご活用下さい。

ご不明な点は事務局までご連絡下さい。

■ 平成25年度会費納入について

楽天カード・自動口座振替ご利用の方は6月27日に口座から引き落としとなります。残高のご確認をお願いします。

口座引落とし以外の方は6月30日までに銀行振込み

又は日本理学療法士協会より送付されるコンビニ・郵便局用の払込票にて納入下さい。

銀行振込先

振込先：肥後銀行 託麻東支店
口座：普通 205019
金額：22,000 円
名義：社) 熊本県理学療法士協会
 (シャ) クマモトケンリカガクヨウホウシヨウカイ
電話：096-389-6463
住所：熊本市東区小山 2-25-35

■ 会費納入用楽天カードのお申込のお願い

会費納入用クレジットカードとして「楽天カード」(年会費無料)へのお申込をお願いします。楽天カードへのお申込は日本理学療法士協会ホームページの会員専用ページからお手続き下さい。



学会・研修会のお知らせ

ライフ感覚で学ぶ！ 離床のできる循環相談所

【講習会内容】

- ・ Q&A 形式で学習！よくある症状から循環を理解する
- ・ 臨床の動画と症例形式で学ぶ循環評価と早期離床の実際
- ・ 心電図とリンクしたベッドサイドでの動き方
- ・ フィジカルアセスメントと心エコーの Check Point！
- ・ 原因を見分けるために必要な胸部レントゲン写真の診かた

記

日時：平成 25 年 7 月 27 日 (土)
10:00~16:10

会場：鳥栖市民文化会館
(旧称：鳥栖市中央公民館)
(佐賀県鳥栖市宿町 807-17)

対象：看護師、PT、OT、ST (左記以外でも受講可)
対象科：循環器病棟はもちろん血圧や心電図に問題がある患者が入院する全科

講師：徳田雅直 先生
(大崎病院 東京ハートセンター)

受講料：一般 9,800 円(税込)
会員 8,800 円(税込)
(食費・宿泊費は含まれません)

■ ■ ■ 参加申し込み・問い合わせ ■ ■ ■

日本離床研究会：<http://www.rishou.org>

スマホからはじめる 動作分析セミナー in 熊本

【講習会内容】

- ・ 動作と関節モーメントの理解
身体重心点と関節モーメントの関係
歩行時の床反力に対する関節運動の理解
- ・ 加速センサーについての理解
プラスチックの角度計を使用する違和感
携帯用加速度センサーアプリの紹介とその実力
- ・ 実験
- ・ 加速度データと床反力の関係

記

日時：平成 25 年 6 月 22・23 日 (土・日)
9:30~16:30

会場：九州中央リハビリテーション学院
(熊本県熊本市中央区本山 3-3-84)

講師：● 國中優治 先生
(SENSTYLE 代表取締役)
● 丸山倫司 先生
(九州中央リハビリテーション学院
理学療法学科 専任教員)
● 加藤 浩 先生
(九州看護福祉大学 教授 理学療法士)

受講料：12,000 円

■ ■ ■ 参加申し込み・問い合わせ ■ ■ ■

主催：SENSTYLE

連絡先：<http://www.senstyler.com>

平成 25 年度公益財団法人肥後医育振興会 医学研究助成金応募案内

1. 助成の趣旨

公益財団法人肥後医育振興会は、熊本県における医療振興に必要な教育・研究の助成及び委託事業を行い、もって地域医療の向上と県民の健康増進及び日本国内の医学・医療の進展に寄与することを目的としており、この目的を遂行するため、以下の要領で医学研究助成金を公募する。

2. 助成対象

熊本県下の医・歯・薬・保健学系教育機関又は医療関係機関に所属する個人又はグループとする。

3. 応募資格

熊本県の医・歯・薬・保健学系教育機関又は医療関係機関に所属している者で、応募締切日において、満 37 歳未満の者とする。

4. 募集期間

平成 25 年 6 月 28 日（金）まで（期限厳守）

5. 応募方法

申請書は財団の書式によるものとし、推薦書（1 部）を添付して、財団事務局へ提出すること。

6. 助成金

1 件 15 万円とし、4 件以内を採用予定。

7. 選 考

公益財団法人肥後医育振興会助成選考委員会が選考にあたり、理事会で決定する。

8. 注意事項

- 1) 推薦者は、医・歯・薬・保健学系の教育機関にあっては教授又はこれに相当する者、医療関係機関にあってはその機関の長とする。ただし、公益財団法人肥後医育振興会助成選考委員会委員は推薦者になることはできない。
- 2) なるべく多彩なフィールドの研究を支援するため、過去の受賞者（平成 8 年度～平成 24 年度）は応募を控えること。
- 3) 本財団以外からの研究助成を受けていない研究者や研究課題を優先する。
- 4) 研究費の用途については、特に制限はないが、15 万円以内で計画すること。
- 5) 研究業績の欄は主なものとしているので規定の枠内に入る範囲で記入すること。
- 6) 助成金授賞者は、本助成金による研究成果についての報告（400 字原稿用紙 4 枚程度）を、肥後医育振興会事務局へ提出しなければならない。この報告書は公表する。

9. 提出先

〒860-0811 熊本市中央区本荘 2 丁目 2-1
肥後医育記念館内
公益財団法人肥後医育振興会事務局
TEL&FAX 096-373-5425

10. 応募案内及び申請書等は、本財団のホームページ上で閲覧できます。



学会・研修会印象記

『第 15 回医療マネジメント学会

熊本支部学術集会に参加・発表して』

御幸病院 荒木 克也

平成 25 年 3 月 9 日、くまもと森都心プラザで開催された第 15 回医療マネジメント学会に参加してまいりました。

全体のテーマは～患者と共に考える地域医療の推進～、シンポジウムとして「患者さんの視点にたった連携医療」という内容で医師、看護師、セラピスト、相談員の方々による医療連携についての貴重なご講演がありました。

急性期からは後方連携への課題が挙げられており地域連携を行うにあたって再度、情報共有の重要性を十分に考えさせられ大変勉強になるご講演を拝聴させていただきました。今回の発表では熊本市周辺の連携の素晴らしさがわかりました。今後、この連携が熊本県全域に広がることを期待できるような内容でした。

また、一般演題として、『-回復期リハビリテーション病棟退院後の追跡調査-』をテーマに私も発表をさせていただきました。内容としては、回復期から生活期に移行後のリハビリテーション提供量と機会が極端に減少する事で身体機能、生活機能、精神機能の低下がみられる現状に着目し、追跡調査を実施したという内容です。この調査を実施し考えなければいけないことは、更なるリハビリ見学の充実を行い、患者・家族の不安や、退院後の生活のビジョンを明確に出来る環境作りに取り組んで行かなければいけないということです。

現実には実現できていませんが、患者友の会設立を行うことで入院中から、人と触れ合う機会を増やし、悩みの相談や楽しみ活動の提供により、生活の質が向上するのではないかと考えました。

今回、改めて考えさせられたことが、病院完結型ではなく地域完結型への医療提供することが必要で、回復期から生活期へのシームレスな連携を行い、保健医療の枠を越えて地域で支えていくことの大切さを気付かされました。

日々多忙ではありますが、自分の仕事ぶりをもう一度見直そうと思います。



学術事業部による 文献紹介公募のお知らせ

学術事業部では会員の皆様の学術活動支援を行うために、文献紹介を会員の皆様より公募しています。読まれている文献を他の会員にも紹介していただければ幸いです。

【募集内容】

理学療法に関連する書籍、雑誌の要約を募集いたします。執筆されている言語を問いません（英文、和文いずれでも結構です）。出版年による制限は設けておりませんができるだけ近刊を募集しております。本邦の他の雑誌で要約紹介済みのものはご遠慮下さい。

【具備すべき条件】

文字数は 1200 字程度 A4 サイズとしてください。要約された論文の題名・著者名・雑誌名・巻・頁（最初～最終）、発行年（西暦）をお書きください。

【募集期間】

随時募集

【採否】

「かくどけい」1号に対して2文献の掲載を行います。尚、「かくどけい」への掲載をもって受理とさせていただきます。

「かくどけい」に掲載された方には寸志（図書カード）を贈呈させていただきます。多数の御応募をお待ちしております。

【募集方法】

下記宛てに郵送、または E-mail で送付してください。

【募集・問い合わせ先】

〒861-4193 熊本市南区近見 5-3-1

済生会熊本病院 リハビリテーション部

仁田脇 宣男

電話：(096)351-8000

FAX：(096)351-8063

E-mail：nobuo-nitawaki@saiseikaikumamoto.jp

学術事業部文献紹介

『CI療法 脳卒中リハビリテーションの 新たなアプローチ』

編集 道免和久

発行社 中山書店：2008年初版

CI療法とは、脳卒中片麻痺上肢のリハビリテーション治療方法の一つであり、健側上肢を拘束し、麻痺側上肢を段階的に訓練することにより、上肢機能の改善をはかるものです。これは先端リハビリテーション医学の一手段であり、今後、更なる研究とエビデンスを必要とするが、臨床でも回復期症例から慢性期の機能障害症例に対し多くの改善効果が挙げられています。

本書は、CI療法の歴史から適応、Shaping項目、臨床での実例までを紹介しており、分かりやすくまとめられたもので、お勧めの一冊となっています。

（文責：南 大輔）

『リハビリテーション栄養ハンドブック』

若林秀隆 編著

発行社：医歯薬出版株式会社

リハビリテーション栄養という言葉が聞かれる機会が増えていらっしゃる会員も多くなってきていると思います。

本書は、リハビリテーション栄養の考え方から始まり、栄養の基礎知識、栄養管理、NST、そして主な疾患・障害のリハビリテーション栄養と基礎から応用までリハビリテーション栄養を考えるための一連の流れをわかりやすくまとめて説明されています。

私はサルコペニアという言葉が初めて本書で知ることが出来ました。仕事に対応する患者様の中にも多く認められる為、食事とリハの関係をアドバイスする際に役立てることが出来ました。また、院内勉強会を行う際にも利用させていただき、他職種にも疾患とリハと栄養の関係がわかりやすかったとの感想を頂きました。栄養とリハの関係を再度確認しアプローチの一助としていただけたらと思います。（文責：岩田輝彦）



県北ブロック

浦上 洋純

皆様はじめまして。

今年度、県北ブロック長を拝命しました菊池中央病院の浦上と申します。

前任の山鹿菖蒲苑の菅原大志先生の後を受けて、微力ながら熊本県理学療法士協会の円滑な運営のお手伝いが出来ればと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

会員の皆様は既にご承知のとおり4月より公益法人が正式に認可されました。嬉しい反面、理学療法士としてより一層地域に貢献しなければと身の引き締まる思いも抱きながらの新年度の始まりとなりました。

さて、当ブロックの活動としまして5月に地区責任者会議を開催し、6月2日(日)には荒尾市民健康福祉まつりへの協力を予定しております。この催しには、荒尾地区の先生方に準備段階からご尽力頂いており、多くの地域の方にご参加頂ければと思っております。

今後も県北ブロックの会員の皆様と協力し合い、より良い活動、運営に携わって参ります。

八代ブロック

塚島 靖博

新緑がまぶしい季節になりましたね。患者さんと屋外歩行に行くのが楽しくて仕方ありません。今年度は八代ブロックへ38名の新人の方が就職されました。どうぞ宜しくお願い致します。

昨年度は、宇城総合病院、熊本(八代)総合

病院の移転があり、感染性胃腸炎の流行により勉強会や、ブロック会議が開催できずに申し訳ありませんでした。今年度の目標は、八代ブロックでは公益2の事業が今まで実施されていませんでしたので、来年度に向けて計画を立てることを第一に掲げて、ブロック会議・懇親会・勉強会を開催したいと思っております。7月には八代地区での懇親会を企画中です。

人吉総合病院も耐震整備の一環で、5月3日に新館へ移転となります。リハセンターは仮住まい計3回の引っ越しをしなければなりません。2年間は職員食堂で、2ヶ月間は更衣室で7月には完成するリハセンターへ引っ越しです。

後1年ブロック長を続けますので今後ともよろしくお願い致します。

県南ブロック

藤井 崇浩

平成25年度になり、皆さまの職場にも新しい職員が入ってこられた施設も多いのではないのでしょうか。新年は1月から始まりますが、働いている立場からすると年度替わりの4月の方が気分も変わる気が致します。

私ごとですが、先日小学生の息子の授業参観に行き参りました。懇談会で先生からは、子どもたちの「学習態度が良くない」「忘れ物が多すぎる」「字が汚い」など、耳に痛い言葉が続いておりました。親としても、今度の担任の先生はどんな方だろうかと期待と不安を抱いている所でしたが、信頼関係ができる前のタイミングでこのようなことを言われてしまいましたので、意気消沈してしまいました。『あたりまえだけど、とても大切なこと』(草思社)の著作がある米国の教師ロン・クラーク氏は、「保護者との最初の接触は、前向きなものでなければならない」と語っています。また、注意と賞賛の割合は3:7で、あるいは叱るのは褒めた後でなどと言われますが、共通する部分があると感じました。

私たちが患者様と接する場合も、臨床実習

の学生に対する時も、状況は違えども留意すべきことは同じではないかと思いました。信頼関係ができていない方から注意や叱責を受ける場合は「自分のために言ってくれているのだ」と感じられますが、そうではない場合なかなか素直に受け取れないものではないでしょうか。新年度を迎え、「初心忘るべからず」「一期一会」の気持ちで、接していきたいと思えます。

さて、県南ブロックでは4月に全体会議を開催致し、今年度の勉強会の担当決め・新人紹介・連絡事項の伝達事項を行いました。県南ブロックでは、6の方が新たに加わっていただきました。少人数の利点を生かし、色々なことを言い合えるブロックにしていきたいと思えます。今年度も、よろしくお願ひ致します。

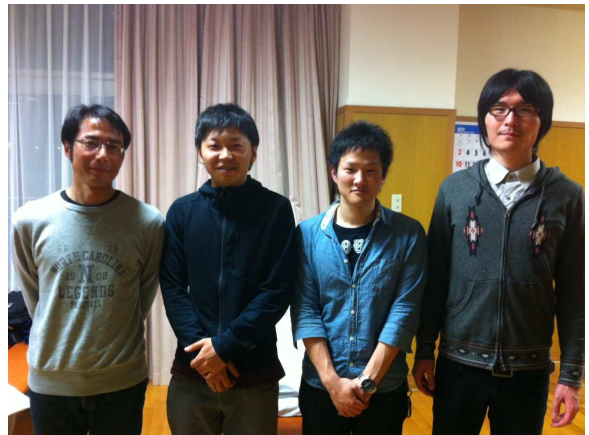
天草ブロック

水田 順司

今年で天草ブロック長3年目となりました東整形外科の水田です。今年度がブロック長として最後の年となりますので、会員の皆様へ円滑なブロック運営並びに情報提供ができるように最後まで活動していきたいと思えますので、よろしくお願ひいたします。

さて、天草ブロックからの活動報告です。3月8日(金)に平成24年度の最後の定例勉強会を開催し、毎年恒例の臨床3年目の先生方にテーマを「関節可動域制限に対する臨床での推論過程」と題しまして、池田光世先生には「左膝関節の伸展制限について」、高田友和先生には「筋・神経縫合術後足関節可動域制限を呈した症例について」、佐々木祐亮先生には「透析アミロイドーシスによる二次性の関節可動域制限に対して」、庵本勝喜先生には「変形性膝関節症を有する患者の膝関節屈曲制限について」各々の推論過程を述べながら写真や動画を活用していただき、症例報告を行っていただきました。日頃の臨床を振り返りながらまとめるという作業は、今後の治療にもつながるものとなりますので、参加者以

上に勉強になったのではないかと思います。



左より

庵本先生 佐々木先生 池田先生 高田先生

4月28日には天草リハビリテーション研究会との合同で新人歓迎会を開催いたしました。総勢54名の先生方にご参加いただき、今年度は新たに6名の先生方に天草に就職していただき、多くの仲間ができ、これからの活躍を期待したいと思います。また、他協会との先生方とも親睦を深める良い機会となり、これからの天草におけるリハビリテーション医療の発展と今年度の合同勉強会へ向けても良い意見交換ができました。最後まで幹事を務めていただきました2年目の先生方にはこの場をおかりしてお礼申し上げたいと思えます。



最後になりますが、今年度の定例勉強会は「脊柱」をテーマに開催いたします。臨床に活かせる内容になるよう学術部を中心に企画しておりますので、皆様のご参加の程よろしくお願ひいたします。

心士会 便り 神奈川

『理学療法士の未来を考えよう』

去年、理学療法士の行っている仕事としていくつかの話聞くことがあった。その内容は今まで理学療法士がすることとは考えていないことだったので正直驚いた。どのような内容だったかというと、理学療法士・作業療法士が大勢雇用されている施設でスタッフが行っていることが、患者さんの障害・問題を解決・改善することではなく看護助手と同様のヘルパー業務だったということと、理学療法士が夜勤をしてその業務がまた看護助手と同様の内容だということだった。仕事を始めて30年が過ぎたが、時の流れの中で度重なる診療報酬改訂、介護保険制度の導入などにより仕事の仕方や分野が少しずつは変化していたが、仕事としては患者さんの持つ障害の改善や能力の有効利用を通してQOL向上に貢献することに大きな違いはなかった。

この理学療法士等が介護職同様として働くという動きがどの程度本当のことなのかは真偽の程は定かではなく、単なる噂話の域を出ないことなのかも知れないが、回復期リハビリテーション病棟の制度が導入されてから生活介護の場面に介入する機会は増加してきているとは感じている。そこには対象者の状態を評価し、改善するための計画立案・実施をし、その結果・効果判定をする一連のプロセスの中で必要なこととしての必然性があると思う。しかしながら、高度な専門性を持った理学療法士が純粋な介護要員として働かされるという動きにはたとえ噂話であっても強い危惧を感じざるを得ない。というのは、病院経営をする側の立場として考えれば、高い能力を持った職種が日常の世話をしながら療養できるということは強い売りになるだろうし、その

中で計画性を持って20分以上の介入を行っていただければ疾患群リハビリテーション料の算定ができる可能性を持つことは収入の面でも魅力となりうるだろう。可能性としてこのような施設が増加していくことは、毎年の理学療法士の国家試験合格者数から見ても低いものではないと考えられる。

私自身はこういった理学療法士を介護要員として使うという動きが進むことは理学療法士自身の将来や、理学療法が必要となった方達を考えた時に良いことではないと思っている。やはり理学療法士の仕事は病気をした方、障害を持ってしまった方達の未来、生活を高める働きかけを行って行くことであって、そういった仕事ができる体制が対象となる方達の利益につながるのであり、目の前の患者さん・利用者さんにとって場当たりの介護をするものではないと思う。理学療法士を介護職として使おうというような動きが現れる背景には現行の医療保険、介護保険制度等の体制や、医療の中でのマンパワーの問題などがあると考えられる。このような業務形態の中では理学療法士の知識・技能の向上は見込めず、結果として質の低下が進むと感じている。

昨年の国政選挙では多くの政党が選挙に参加し、様々な選挙公約を掲げていた。残念ながらリハビリテーション関連、理学療法士に関連するような制度改革・改善を謳った公約を私は見い出せなかった。我々が働きやすく、多くの市民の方々へ我々の技能を提供できる社会体制を実現するためには法令で決定された事を実施している行政機関に働きかけるのではなく、制度決定する場へ我々の声を届けることが重要であり、多くの市民に理学療法士の仕事を正しく認識してもらうことが必要だと思う。また理学療法士はその対象となる方々のために存在する意義があるのだから、学術研究、技能研修が内輪のものだけにならないよう、その先には常に対象となる方達の利益を考える必要があり、その成果を広く市民に伝えていく努力を惜しまないことも忘れてはならないことだろう。

今年の7月には次の国政選挙が控えている。私達理学療法士の未来と対象となる方達の利益のために是非賢明な参政権を行使して頂きたい。

PT Walker くまもとの理学療法情報 熊本

★訪問リハビリテーション

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士という専門職が、居宅（ここでいう「居宅」には、自宅のほか軽費老人ホームや有料老人ホームなどの居室も含みます）を訪問して行われる、心身の機能の維持回復、日常生活の自立を助けることを目的とするリハビリテーションをいいます。

訪問リハビリテーションを利用できるのは、居宅で生活を送る、「要介護」と認定された人です。ただし、主治医が、利用者の病状が安定しており、サービスの利用が必要だと認めた場合に限りです。

★介護予防訪問リハビリテーション

介護予防を目的として、一定の期間、利用者の居宅で提供されるリハビリテーションをいいます。介護予防訪問リハビリテーションを利用できるのは、居宅（ここでいう「居宅」には、自宅のほか軽費老人ホームや有料老人ホームなどの居室も含みます）で生活を送る、「要支援」と認定された人です。ただし、主治医が治療を必要とする程度について、厚生労働省令で定める基準に合致していると認めた場合に限りです。

県内で理学療法士が訪問リハビリテーションに所属している施設を地区ごとに紹介します

◆：訪問リハビリテーション ●：介護予防訪問リハビリテーション

★熊本市ブロック

- 春日クリニック◆●
- 寺尾病院◆●
- 菊南病院◆●
- 介護老人保健施設彩雲苑◆●
- 介護老人保健施設なでしこ◆●
- 仁誠会クリニックながみね◆●

★県北ブロック

- ふれあいクリニック◆●

★天草ブロック

- 苓北クリニック◆●

★八代ブロック

- 介護老人保健施設皇寿園◆●

★県南ブロック

- 百崎内科医院◆●
- 水俣協立病院◆●



* 熊本県介護サービス情報公表センターのHP(平成25年3月現在)および平成24年10月1日現在の会員名簿を元に作成しています。
また、以前掲載した施設以外の追加掲載となっております。記載漏れ等ありましたら御連絡下さい。

医療・介護お役立ち情報

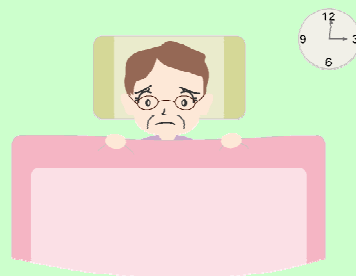
このページでは理学療法士協会が主催して行なった研修会より、市民の皆様方に医療・介護で役立つ情報をお伝えします。

第1回目は「生活不活発病・廃用症候群とはなに？」をお送りします。

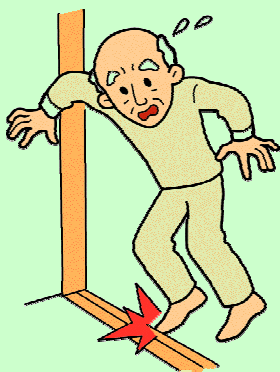
生活不活発病・廃用症候群とはなに？

人間は持っている機能を使わないと、その機能が低下してしまいます。一例として、病気などで3日間程度寝込んでしまった後に起き上がった時、初めのうちは体がだるくて辛いといった経験をされた方も多いと思います。

生活不活発病（せいかつふかっぱつびょう）とは、過度に安静にすることや活動性が低下した結果、生活が不活発となり心身の機能のほとんど全てが低下することで、学術的には廃用症候群（はいようしょうこうぐん）といいます。



●寝たきりやギプス固定によって筋肉が萎縮



特に高齢者では、知らないうちに進行し、気がついた時には「起きられない」「歩くことができない」などの状況が少なくありません。

例えばベッドでしばらく安静臥床することにより、1日で1~1.5%の割合で筋力が低下すると言われていています。更にケガなどで膝や足首などをギプス固定すると、なんと1日1.3~5.5%の割合で筋力が低下するそうです。筋力だけではなく関節の動きも悪くなり、このことが活動性を低下することになり、悪循環をきたして、ますます全身の身体機能に悪影響をおよぼし、最悪の状態では寝たきりとなってしまいます。

以下の表に**廃用症候群で起こりうる症状**を掲載します。

症状	説明
廃用性筋萎縮（きんいしゆく）	筋肉がやせおとろえること
関節拘縮（こうしゆく）	関節の動きが悪くなること
廃用性骨萎縮（こついしゆく）	骨がもろくなること
心機能低下	心拍出量（1分間に拍出する血液量）が低下する
起立性低血圧	長く寝た後、急に立ち上がるとふらつく
誤嚥性（ごえんせい）肺炎	食べ物が誤って肺に入ることが原因の肺炎
うつ状態	精神的に落ち込むこと
せん妄（せんもう）	軽度の意識混濁（いしきこんたく：意識の清明度の低下）のうえに目には見えないものが見えたり、混乱した言葉使いや行動を行うこと
見当識障害（けんとうしきしょうがい）	今はいつなのか、場所がどこなのが分からないこと
褥瘡（じょくそう）	床ずれといわれる皮膚のきず

*次回は「廃用症候群を予防するには？」を掲載予定です。

～栄養管理と運動療法～

リハビリテーションの対象疾患で低栄養を認めることが多い疾患として、**廃用症候群、脳卒中、脳性麻痺、パーキンソン病、褥瘡、大腿骨頸部骨折、関節リウマチ、癌、慢性心不全、慢性閉塞性肺疾患**などがあります。低栄養の状態では、レジスタンストレーニングや持久力増強訓練など積極的な機能訓練を1日2～3時間行われると、さらに低栄養、筋力や持久力の低下が進行する可能性があります。リハビリテーションを行うにあたっては、**栄養状態も含めた評価**をもとに、適切な運動療法と栄養管理を行います。

● 栄養アセスメント

Mini Nutritional Assessment[®]の Short Form (MNA[®]-SF) は、栄養アセスメントに要する時間が4分ほどと短く、65歳以上の高齢者の栄養スクリーニングに用いられています。低栄養の有無は、MNA[®]-SFで7点以下であれば低栄養と判断します。低栄養の原因には、**飢餓、侵襲、悪液質**があり、複数認める場合もあります。著明な浮腫を認める患者では浮腫による体重増加で、得点が実際の栄養状態より高くなる場合があるので、**血清アルブミン値**など検査値も同時に評価します。

栄養状態を把握するために重要な項目として身体計測があります。その代表的なものとしては、①身長・**体重**、②**下腿周径 (CC)**、③上腕三頭筋皮下脂肪厚 (TSF)、④上腕周囲長 (AC)、上腕筋囲 (AMC=AC-0.314×TSF)、⑤上腕筋面積 (AMA=AMC²/4π) などがあり、身長と体重の計測からは**体格指数 (BMI)**、**%理想体重 (%IBW)** が算出できます。他に、手軽に行える機能検査として**握力**、スパイロメータを用いた最大呼気圧や最大吸気圧などがあげられます。栄養障害を認める場合にはこれらをもとに評価した上で、予後予測とリハビリテーション計画を立案することが重要となります。

● 低栄養の原因と対応

飢餓では、体外からの**エネルギー供給 (経口摂取、経管栄養、静脈栄養)**の不足により、体内の糖質、脂質、蛋白質を分解することによって必要なエネルギーを産生します。長期化すると、**筋肉の蛋白質と脂肪を分解してエネルギーを産生**します。さらに進行すると、免疫能の低下、創傷治癒遅延、臓器障害が生じます。筋合成に必要なアミノ酸、脂質、エネルギーが不足している状態であり、**レジスタンストレーニングは筋肉の蛋白質をさらに分解させるため避けたほうがよい**でしょう。

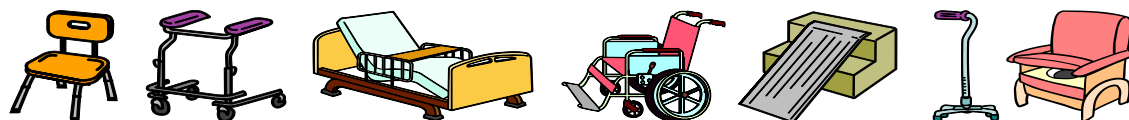
侵襲とは、**手術、外傷、骨折、感染症などの刺激**をいいます。**急性の発熱や C 反応性蛋白質 (CRP) の上昇**が目安となります。侵襲下の代謝変化は、傷害期、異化期、同化期の時期に分類され、**異化期**では特に**筋肉の蛋白質の分解が著明**であり、治癒反応へエネルギーが供給されます。この時期の**レジスタンストレーニングは筋肉の蛋白質をさらに分解させるため避けたほうがよい**でしょう。**同化期**に適切な栄養投与と運動療法を併用することによって、**筋肉の蛋白質を増やす**ことができます。

悪液質とは、**感染症、癌、膠原病、慢性心不全、慢性腎不全、慢性閉塞性肺疾患、肝不全などに関連する複雑な代謝症候群**であり、**筋肉の喪失が特徴**です。成人では体重減少 (水分管理除く) が臨床的な特徴となります。食思不振、炎症、筋蛋白崩壊の増加などが関連しています。ターミナルになる前に悪液質を早期に診断して、早期に多職種で介入することで、身体機能や QOL が改善する可能性があります。

栄養障害を認める場合には、運動療法と栄養管理を併用することで、日常生活動作 (ADL) や生活の質 (QOL) の向上を期待することができます。

賛助会員一覧

施設名	〒	住所	TEL
有園義肢株式会社	866-0815	八代市長田町 3300	0965-33-3983
アメックス熊本株式会社	862-0913	熊本市東区尾ノ上 1-3-9	096-384-6565
(有) 熊本託麻義肢	861-8034	熊本市東区八反田 2-1-49	096-380-8673
(株) 藺田義肢製作所	860-0811	熊本市中央区本荘 4-5-5	096-364-9376
(株) タガワブレース	869-0605	宇城市小川町南部田 1555-1	0964-43-0503
(株) 徳田義肢製作所	862-0971	熊本市中央区大江 6-27-20	096-364-0855
(株) ホワシ	861-8045	熊本市東区小山 5-19-55	096-389-5411
(株) ミタカ	861-3107	上益城郡嘉島町上仲間 850-2	096-237-2257
帝人在宅医療株式会社 熊本営業所	862-0913	熊本市東区尾ノ上 2-23-1	096-360-7333
(有) 三栄商会 サンエイ・メディカル	861-0516	山鹿市中央通 406	0968-43-7755



編集後記

新しい年度が始まり、気を引き締め仕事も頑張っていますが、それと同時に花粉症・黄砂・そしてPM2.5とも戦っている日々でした。仕事は健康があって成り立つものです。私は元々アレルギー体質ですので、体に気をつけて毎日の仕事を患者さんと一緒に頑張っていきたいです。(C・N)

公益社団法人熊本県理学療法士協会 広報誌「かくどけい」

号 数 第109号 通算146号
 発行日 平成25年5月27日
 発行人 公益社団法人熊本県理学療法士協会
 〒861-8045 熊本市東区小山2丁目25-35
 TEL/FAX 096-389-6463

STAFF

坂田 大介	岩村 泰年
江口 宏	中野 真実
緒方 美湖	紫垣 華苗
奥 蘭 彩	富 永 誠
野田 智愛	渡邊 知子
松本 美香	有馬 正英
古川 晃次	鈴木田 麗
渡邊 大輔	南 留美子
福田 圭祐	岩見 幸省
野尻 晋一 (表紙)	



事業予定表

6 月		7 月		8 月	
日	曜	日	曜	日	曜
1	土	1	月	1	木
2	日	2	火	2	金
3	月	3	水	3	土
4	火	4	木	4	日
5	水	5	金	5	月
6	木	6	土	6	火
7	金	7	日	7	水
8	土	8	月	8	木
9	日	9	火	9	金
10	月	10	水	10	土
11	火	11	木	11	日
12	水	12	金	12	月
13	木	13	土	13	火
14	金	14	日	14	水
15	土	15	月	15	木
16	日	16	火	16	金
17	月	17	水	17	土
18	火	18	木	18	日
19	水	19	金	19	月
20	木	20	土	20	火
21	金	21	日	21	水
22	土	22	月	22	木
23	日	23	火	23	金
24	月	24	水	24	土
25	火	25	木	25	日
26	水	26	金	26	月
27	木	27	土	27	火
28	金	28	日	28	水
29	土	29	月	29	木
30	日	30	火	30	金
		31	水	31	土
<p>熊本市ブロック中央地区会議(6/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●熊本市ブロック菊阿地区会議 ●熊本市ブロック西地区会議 ●天草ブロック会議 ●荒尾市健康福祉まつり 		<ul style="list-style-type: none"> ●第13回テーピング講習会(足関節編) ●第5回小児勉強会 ●熊本市ブロック北地区勉強会 ●研究促進勉強会(熊本市ブロック北地区) ●介護予防勉強会 ●県南ブロックリハ関連職種交流会 ●第2回県南ブロック勉強会 		<ul style="list-style-type: none"> ●県北ブロック会議 ●天草ブロック会議 ●天草ブロックサマーレクリエーション 	

県コード

1	北海道
2	青森
3	秋田
4	岩手
5	宮城
6	山形
7	福島
8	茨城
9	栃木
10	群馬
11	埼玉
12	千葉
13	東京
14	神奈川
15	新潟
16	富山
17	石川
18	福井
19	山梨
20	長野
21	静岡
22	岐阜
23	愛知
24	三重
25	京都
26	滋賀
27	奈良
28	和歌山
29	大阪
30	兵庫
31	岡山
32	広島
33	鳥取
34	島根
35	山口
36	徳島
37	高知
38	香川
39	愛媛
40	福岡
41	長崎
42	熊本
43	大分
44	佐賀
45	宮崎
46	鹿児島
47	沖縄
48	海外

最終学歴

1	中学（旧制小学・高等小学校含む）
2	高等学校
3	専門学校
4	短期大学（旧制高等学校含む）
5	大学（学位授与機構含む）
6	大学院修士課程修了（博士課程前期）
7	大学院博士課程修了（博士後期課程）
8	高等専修学校
9	その他

学位称号

1	なし（学位または称号は有していない）
2	学士
3	修士
4	博士
5	準学士
6	専門士
7	高度専門士
8	その他

施設区分 I

A	B
1	大学病院
2	総合病院
3	一般病院
4	老人病院
5	小児施設
6	老人施設
7	教育施設
8	行政機関
9	保健所
10	その他
11	不明
	1 厚労省（含：国立病院機構）
	2 文科省（含：国立大学法人）
	3 労働者健康福祉機構
	4 旧三公社（たばこ産業・JR・NTT）
	5 都道府県
	6 市町村
	7 日赤
	8 済生会
	9 北海道社会事業協会
	10 厚生連
	11 国民健康保険団体連合会
	12 厚生年金事業振興会
	13 厚生団
	14 船員保険会
	15 健康保健組合及びその連合会
	16 共済組合及びその連合会
	17 国民健康保険組合
	18 公益法人
	19 医療法人
	20 私立学校法人
	21 会社
	22 その他の法人
	23 老人福祉施設
	24 身体障害者更生援護施設
	25 児童福祉施設
	26 知的障害者援護施設
	27 その他の社会福祉施設
	28 個人
	29 その他
	30 不明

異動届記載用資料

施設区分Ⅱ

A		B	
1	医療施設	病院	1 大学病院
			2 総合病院
			3 老人病院
			4 小児病院
			5 一般病院(上記以外) 一般病床
			6 一般病院(上記以外) 療養型病床
			7 感染症病院
			8 精神病院
			9 結核病院
			10 ハンセン病院
			11 地域支援病院
			12 その他
2	医療施設	診療所	1 有床診療所
			2 無床診療所
			3 療養型病床群
			4 その他
3	医療施設	不明	1 その他
4	医療福祉中間施設	医療福祉中間施設	1 介護老人保健施設
			2 老人訪問看護ステーション
			3 老人デイサービス
			4 老人デイケア
			5 その他
5	老人福祉施設	老人福祉施設	1 養護老人ホーム
			2 特別養護老人ホーム
			3 軽費老人ホーム
			4 老人デイサービス
			5 老人福祉センター
			6 老人短期入所施設
			7 有料老人ホーム
			8 介護付き有料老人ホーム
			9 在宅介護支援センター
			10 高齢者総合相談センター
			11 その他
6	介護保険法関連施設	介護保険法関連施設	1 地域包括支援センター
7	身体障害者福祉施設	身体障害者更生養護施設	1 肢体不自由者更生施設
			2 重度身体障害者更生養護施設
			3 重度障害者授産施設
8	身体障害者福祉施設	身体障害者療護施設	1 身体障害者療護施設
9	身体障害者福祉施設	重度身体障害者授産施設	1 重度身体障害者授産施設
10	身体障害者福祉施設	身体障害者福祉センター	1 身体障害者福祉センター A型
			2 身体障害者福祉センター B型
			3 在宅障害者デイ・サービス施設
11	身体障害者福祉施設	身体障害者更生相談所	1 身体障害者更生相談所
12	児童福祉施設	知的障害児施設	1 知的障害児施設
13	児童福祉施設	知的障害児通園施設	1 知的障害児通園施設
14	児童福祉施設	肢体不自由児施設	1 肢体不自由児施設
			2 肢体不自由児通園施設
			3 肢体不自由児療護施設
15	児童福祉施設	重症心身障害児施設	1 重症心身障害児施設
16	児童福祉施設	情緒障害児短期治療施設	1 情緒障害児短期治療施設
17	児童福祉施設	児童相談所	1 児童相談所
18	児童福祉施設	心身障害児総合通園センター	1 心身障害児総合通園センター

A		B	
19	精神障害者社会復帰施設	精神障害者生活訓練施設	1 精神障害者生活訓練施設
			2 精神障害者授産施設
			3 精神障害者地域生活支援センター
20	精神障害者社会復帰施設	精神保健福祉センター	1 精神保健福祉センター
			21 精神障害者社会復帰施設
22	精神障害者社会復帰施設	精神障害者グループホーム	1 精神障害者グループホーム
23	精神障害者社会復帰施設	精神障害者小規模作業所	1 精神障害者小規模作業所
			24 知的障害者福祉施設
24	知的障害者福祉施設	知的障害者更生相談所	2 知的障害者授産施設
			25 知的障害者福祉施設
26	障害者自立支援施設	指定障害者福祉サービス事業所	1 生活介護事業所
			2 自立訓練(機能訓練)事業所
			3 多機能型事業所
27	障害者自立支援施設	指定障害者支援事業所	1 生活介護支援事業所
			2 自立訓練(機能訓練)支援事業所
28	障害者自立支援施設	指定相談支援事業所	1 指定相談支援事業所
29	障害者自立支援施設	指定地域活動支援センター	1 指定地域活動支援センター
30	教育・研究施設	特別支援学校	1 肢体不自由児
			2 知的障害児
			3 その他
31	教育・研究施設	教育・研究施設	1 理学療法3年制専門学校教員
			2 理学療法4年制専門学校教員
			3 理学療法短期大学教員
			4 理学療法大学教員
			5 理学療法以外の大学教員
			6 研究施設
			7 その他
32	行政関係施設	行政	1 保健所
			2 市町村保健センター
			3 国
			4 都道府県
			5 市
			6 町
			7 村
			8 社会福祉協議会
			9 身体障害者福祉協議会
			10 その他
33	健康産業	健康産業	1 スポーツ関係施設
			2 フィットネス施設
34	その他	その他	1 職業センター
			2 リハ関連企業
			3 一般企業
			4 補装具作成施設
			5 訪問看護ステーション(老人訪問看護ステーション)
			6 介護サービス企業
			7 自営・開業
			8 自宅(勤務しているが自宅会員登録)
			9 休業中(会員だが休業しているもの)
			10 その他
35	不明		1 海外
			1 不明

公益社団法人 熊本県理学療法士協会 入会申込書

公益社団法人 熊本県理学療法士協会長 殿

私は、公益社団法人熊本県理学療法士協会へ入会致したく申し込みます。

提出日 平成 年 月 日

氏 名	印		
勤 務 先			
入会状況	<input type="checkbox"/> 新 規 入 会	免許番号	第 号
	<input type="checkbox"/> 他都道府県からの異動入会	免許番号	第 号

※ 自宅会員の場合、勤務先は「自宅」と記入ください。

公益社団法人 熊本県理学療法士協会 退会届

公益社団法人 熊本県理学療法士協会長 殿

この度 私は、公益社団法人熊本県理学療法士協会を退会しますのでお届け致します。

提出日 平成 年 月 日

退会日 平成 年 月 日

氏 名	印	会員番号	
勤 務 先			

※ 勤務先は熊本県理学療法士協会会員としての勤務先をご記入ください。

※ 自宅会員の場合、「自宅」と記入ください。

公益社団法人 熊本県理学療法士協会
休会届（新規・継続）

公益社団法人 熊本県理学療法士協会長 殿

この度 私は、以下の理由により公益社団法人熊本県理学療法士協会を休会しますのでお届け致します。

提出日 平成 年 月 日

休会日 平成 年 月 日

氏 名	印	会員番号	
勤 務 先			
休会理由			

※ 自宅会員の場合、勤務先は「自宅」と記入ください。

公益社団法人 熊本県理学療法士協会 復会届

公益社団法人 熊本県理学療法士協会長 殿

この度 私、公益社団法人熊本県理学療法士協会を休会中のところ復会致しますのでお届けします。

提出日 平成 年 月 日

復会日 平成 年 月 日

氏 名	印	会員番号	
勤 務 先			

※ 自宅会員の場合、勤務先は「自宅」と記入ください。

